

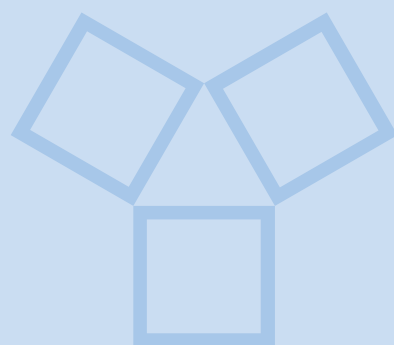
2020

令和2年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2020 – March 2021



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2020

令和2年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2020 – March 2021

目次

基本方針・沿革	5
展覧会事業	
概要	7
企画展1 澄川喜一 そりとむくり	8
企画展2 ヨコハマトリエンナーレ2020 「AFTERGLOW一光の破片をつかまえる」	10
企画展3 トライアローク: 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション	12
横浜美術館コレクション展 2020年2月15日(土)-5月24日(日)	14
横浜美術館コレクション展 2020年11月14日(土)-2021年2月28日(日)	16
New Artist Picks 柵瀬茉莉子展 いのちを縫う	18
調査研究・普及活動(個人)	20
美術情報センターの活動	23
教育普及事業	
概要	25
鑑賞サポート	28
子どものアトリエ	32
市民のアトリエ	36
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	39
地域社会や市民生活に貢献する事業	40
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	41
保存・修復	42
貸出	43
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	46
外部と連携した事業	48
来館者へのおもてなし	50
国際的な交流・発信	52
資料	
入館者数・収支	54
役員等・組織図	55
職員名簿	56
条例・施行規則	57
施設概要・利用案内	62

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。

「澄川喜一 そりとむくり」… 澄川喜一展

「ヨコハマトリエンナーレ2020『AFTERGLOW一光の破片をつかまえる』

… ヨコハマトリエンナーレ2020

「トライアローク: 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」

… トライアローク展

「横浜美術館コレクション展」… コレクション展

「New Artist Picks 柵瀬茉莉子展 |いのちを縫う」… 柵瀬茉莉子展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担っています。10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指しています。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取り組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(2年間)
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。(5年間)
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(10年間)

展覧会事業

概要

展覧会は美術館で実施されるさまざまな活動のなかでも、中心的な事業です。横浜美術館では、現在、おおむね次の4種類の展覧会を実施しています。

1つめは、企画展と呼ばれる展覧会です。内外の美術館やコレクターなどから、一定のテーマに基づいて作品や資料を借用し展覧会を構成します。2つめは、コレクション展です。美術館が収集してきた美術品や資料をご覧いただく展覧会です。3つめは、「New Artist Picks」(NAP)という呼び名を持つ展覧会です。今後の活躍が期待される若いアーティストが、小企画スペースであるアートギャラリー1、グランドギャラリーやCafé小倉山など、館内のさまざまな場所を使って意欲的な作品を発表します。そして4つめとして、2011年度から横浜トリエンナーレを企画展事業のひとつとして位置づけています。

企画展

横浜美術館は次のような基本方針により、年間3～4本、バラエティに富んだ内容で企画展を実施しています。平成元年の開館以来、これまでに129本の企画展が開催されました。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

(令和2年度3展合計入場者数：118,147人) *ヨコハマトリエンナーレ2020 横浜美術館入場者も含む

コレクション展

当館では、4部屋の展示室を使って、年間1～2回の展示替えをおこない、コレクションを紹介しています。約13,000点のコレクションの中から、常時200～300点の作品を厳選して展示します。毎回テーマを設定することで、さまざまな角度からコレクションの魅力にアプローチをしています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示する会期もあれば、全体を統一したテーマで構成し、分野を横断した展示を行うこともあります。

(令和2年度2展合計入場者数：49,098人)

New Artist Picks (NAP)

NAP(ナップ)は、New Artist Picksの頭文字を採った呼び名で、横浜美術館の学芸員が独自の視点で選出する国内外の新進アーティストによる小展覧会です。平成18年から進めてきた若手作家支援のプログラムが、平成25年から刷新され、新たなシリーズとして登場しました。年1回程度実施し、入場無料でご覧いただけます。担当学芸員一押し、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストをご紹介します。

(令和2年度入場者数：4,500人)

横浜トリエンナーレ

横浜トリエンナーレは、横浜市で3年に1度開催する現代アートの国際展です。国際的に活躍するアーティストの作品を展示するほか、新進のアーティストも広く紹介し、世界最新の現代アートの動向を提示しています。2001年に第1回展を開催して以来回を重ね、世界の情勢が目まぐるしく変化する時代の中で、世界と日本、社会と個人の関係を見つめ、アートの社会的な存在意義をより多角的な視点で問い直してきました。第1回(2001年)から第3回(2008年)までは独立行政法人国際交流基金が主催団体のひとつとして事務局を担い、現代アートを通じて日本と各国との文化交流を促すことを目的に事業を実施してきました。第4回(2011年)以降、運営の主体を横浜市に移した後も、文化庁の支援を受けたナショナルプロジェクトとして、そして文化芸術創造都市・横浜を象徴するプロジェクトとして開催を重ね、横浜美術館をメイン会場のひとつとして、多数の来場者を迎えています。

(令和2年度3会場合計入場者数：153,528人)



企画展1 澄川喜一 そりとむくり

戦後日本の抽象彫刻を牽引してきた澄川喜一の首都圏の公立美術館で開催される初の大規模個展として、最新作を含む109点の作品および資料によって、60有余年におよぶ創作活動の全貌を回顧しました。

澄川喜一は、1931年、島根県鹿足郡六日市町（現・吉賀町）に生まれました。山口県岩国市で高校生活をおくり、終戦間もないころに、当地の名橋・錦帯橋の魅力に目覚めます。数種の木材を巧みにくみ上げた橋の構造美は、澄川の創作の原点となりました。

彫刻家をこころざして東京藝術大学に進学し、塑造を中心とする具象表現の基礎を徹底的に学びました。彫刻専攻科修了後は藝大で教職につきながら数々の彫刻作品を発表、やがて、木や石などの自然素材に対する深い洞察をへて、日本固有の造形美と深く共鳴する抽象彫刻「そりのあるかたち」シリーズに展開しました。このテーマは澄川のライフワークとなりました。一方で、野外彫刻のほかに、東京スカイツリー®のデザイン監修に代表される都市の巨大構造物に関わる多彩な仕事でも注目されました。

具象彫刻にはじまり、先鋭な抽象彫刻に転じつつ、巨大な野外彫刻や建築分野との協働へと創作の領域をひろげる澄川喜一の決定版ともいえる展覧会となりました。

- 主催:** 横浜美術館、日本経済新聞社、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
- 協力:** みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
- 会期:** 令和2年2月15日(土)~5月24日(日)
*2月29日(土)~5月24日(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
- 開催日数:** 12日
- 観覧料:** 一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円、小学生以下無料、65歳以上1,400円
- 入場者数:** 2,691人
- 出品作品数:** 109件
- 関連資料提供:** 4件
- 出展作家:** 3人
- 担当:** 柏木智雄、大澤紗蓉子、長谷川珠緒
- カタログ:** 216頁
- 発行: 株式会社求龍堂
- 編集: 横浜美術館、株式会社求龍堂
- 執筆: 澄川喜一「そりのあるかたち」
逢坂恵理子「序にかえて」
柏木智雄「適材適所のポイエーシス—木は生育の方位のままに使い。」
大澤紗蓉子「新たな造形に向かって—(MASK)シリーズの考察」
長谷川珠緒「木のいのち—(そりのあるかたち)の源にあるもの」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン: 加藤勝也

撮影: 加藤 健 (p.8 ❖ 除く)



企画展2 ヨコハマトリエナーレ2020「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」

第7回となるヨコハマトリエナーレ2020「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」は、インドのニューデリーを拠点とするアーティスト集団ラクス・メディア・コレクティブ(以下「ラクス」)/ジーベシュ・バグチ、モニカ・ナルラ、シュッダプラタ・セーングプタ)をアーティストティック・ディレクターに迎え、横浜での展覧会にとどまらず、オンライン上や海外でも開催する「エピソード」と呼ぶイベントとの2部構成で展開しました。ラクスは、「ソース」と称する思考の出発点となるテキストを元に、世界を理解するためのキーワード「独学・発光・友情・ケア・毒性」などを導き出し、アフリカ、中東、アジア、南アメリカなどに出自を持ち、半数以上が日本初公開でもあった69組の作家やプロジェクトを選定、その多彩な活動を紹介しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開幕は当初予定より2週間遅れることになりましたが、事前予約制によるチケット販売と入場者数の制限、来場者検温や館内清掃・消毒の徹底、ワークショップ(エピソード06:岩井優《彗星たち》)やガイドサポーターの活動をオンライン上で実施するなどの対策を講じて、安全な展覧会運営に努めました。加えて、大規模改修を控えて空きスペースとなった旧レストランや、レクチャーホールでの作品展示、教育普及グループを中心にオンライン・プラットフォームを活用したプロジェクトを実施するなど、ポスト・コロナを見据えた美術館活動を検討・実践する好機となりました。



ポスター



チラシ

イメージビジュアルデザイン:アリアナ・スパニエ

Photo:

- 1 ニック・ケイヴ《回転する森》
2016年(2020年再制作) © Nick Cave
 - 2-4 ヨコハマトリエナーレ2020展示風景
 - 5 イヴァナ・フランケ《予期せぬ共鳴》
2020年 © Ivana Franke
- 撮影:1-4 大塚敬太/5 加藤 健

写真提供:横浜トリエンナーレ組織委員会



カタログ

- 主催:**横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会
- 支援:**文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)
- 特別協力:**独立行政法人国際交流基金、独立行政法人都市再生機構
- 後援:**外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
- 協賛:**日産自動車株式会社、株式会社野村総合研究所、三井不動産グループ、三菱地所グループ、株式会社JVCケンウッド、スターツグループ、大日本印刷株式会社、株式会社高島屋横浜店、森ビル株式会社、株式会社横浜銀行、上野トランステック株式会社、NTT東日本、株式会社大林組、川本工業株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、東レ株式会社、NEC、原鉄道模型博物館、横浜信用金庫、株式会社ルミネ ニュウマン横浜店
- 協力:**株式会社ACM、京浜急行電鉄株式会社、相鉄グループ、第一織物株式会社、日本郵船歴史博物館、Peatix Japan株式会社、富士ゼロックス株式会社、横浜高速鉄道株式会社、株式会社横浜都市みらい
- 助成:**財団法人国家文化芸術基金、モンドリアン財団、公益財団法人大林財団、公益財団法人吉野石膏美術振興財団 ifa (Institut für Auslandsbeziehungen)、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、Acción Cultural Española (AC/E)、スペイン大使館、オーストラリア文化フォーラム

アーティスト支援:オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、仁川文化財団

認証: beyond 2020プログラム

会場: 横浜美術館、プロット48
(展示協力:日本郵船歴史博物館)

会期: 令和2年7月17日(金)-10月11日(日)
*7月23日(木・祝)、8月13日(木)、10月8日(木)は開館
*10月2日(金)・3日(土)・8日(木)-10日(土)は21時まで夜間開館
*10月11日(日)は20時まで夜間開館

開催日数: 78日

観覧料: 一般2,000円、大学・専門学校生1,200円、高校生800円、中学生以下無料
同時期に開催されたアートプログラムとの連携チケット(横浜アート巡りチケット) 一般2,800円、大学・専門学校生2,000円

入場者数: 73,782人(3会場合計は153,528人)

出品作品数: 269件/1,078点、5プロジェクト

出展作家: 69組

担当: 帆足亜紀、内山淳子、福岡綾子、木村絵理子、高橋伸佳、日比野民蓉

ソースブック: 日英別刷 各98頁

カタログ: 日英別刷 日本語版252頁、英語版256頁

発行: 横浜トリエンナーレ組織委員会

編集: シュヴェタ・サルダ、ラクス・メディア・コレクティブ

編集補: 網野奈央(torch press)、木村絵理子、帆足亜紀、日比野民蓉

執筆: シュヴェタ・サルダ



企画展3 トライアローグ：横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション

大規模改修に伴う長期休館前のフィナーレを飾ったのは、3つの公立美術館の所蔵品約120点をもとに20世紀西洋美術の流れをたどる、3館共同による展覧会です。展覧会名「トライアローグ」は鼎談（3者による話しあい）を意味します。3館がたがいのコレクションの相違や共通性をふまえ、それぞれの手薄な部分を補い合い、厚みのある部分を前面に押し出しながら、表現手法と概念の刷新が繰り返された欧米の20世紀美術を概観できるラインナップを紡ぎ上げていきました。

展示構成においては、3館のコレクションに共通して含まれる9人の作家に焦点を当て、彼らの作品を並べてそれぞれの画業の変遷や特質を探る「Artist in Focus」をはじめ、共同企画ならではの趣向を随所に織り込みました。また、スマートフォンを使って親子で対話しながら鑑賞を深める「鑑賞サポートアプリ」など多様な教育普及ツールを製作しました。

国内の複数の美術館が連携し、各館のコレクションの活用性を高めることを旨とした本展は、海外からの作品借用や大量集客型の展覧会にリスクを伴う「ウィズ・コロナ」の時代におけるひとつのモデルケースとなる、という評価も得ました。

主催：横浜美術館、日本経済新聞社、神奈川新聞社、tvk
協力：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社

鑑賞ツール開発特別協力：
株式会社野村総合研究所

会期：令和2年11月14日(土) - 令和3年2月28日(日)
 *12月29日(火) - 1月3日(日) は年末年始で休館
 *2月11日(木・祝) は開館、2月12日(金) は休館

開催日数：87日

観覧料：一般1,500円、大学・専門学校生1,100円
 中学・高校生500円、小学生以下無料、65歳以上1,400円

入場者数：41,674人

出品作品数：118件

出展作家：70人(組)

担当：沼田英子、松永真太郎、大澤紗蓉子、金井真悠子

カタログ：328頁

発行：株式会社左右社

編集：松永真太郎、大澤紗蓉子(横浜美術館)

副田一穂(愛知県美術館)、碓井麻央(富山県美術館)

梅原志歩(株式会社左右社)

執筆：副田一穂「Ⅰ 1900s—アートの地殻変動」

松永真太郎「Ⅱ 1930s—アートの磁場転換」

碓井麻央「Ⅲ 1960s—アートの多元化」

加治屋健司「日本の美術館における西洋美術コレクションの形成」

山口つばさ「『ブルーベリオド』番外編 コレクション展に行こう」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン：山下雅士(sleepwalk)

カタログデザイン：菊地敦己

撮影：加藤 健(p.12 ❖除く)



横浜美術館コレクション展 2020年2月15日(土) - 5月24日(日)

横浜美術館の西洋美術 木版挿絵からボルタンスキーまで—絵画・版画・写真・彫刻

この展覧会は、2021年度から始まる横浜美術館大規模改修に伴う休館を控え、1983年以来三十有余年にわたり収集されてきた当館の西洋美術コレクションを可能な限り多数展示し、その広がりともとまりを多くの方々に展望していただくことを目指して企画されました。16世紀から20世紀にかけての欧米の作家による絵画、版画、彫刻、計約1,000点と、美術と関連の深い西洋写真の中から、美術史の流れに沿って411点を選び、以下の章を構成しました。

- I 近代以前の美術
 - 西洋版畫の開花 16・17世紀—木版畫から銅版畫へ
 - II 19世紀の美術① アカデミズムと近代の胎動
 - 版画と写真のつながり
 - III 19世紀の美術② フランスの近代—バルビゾン派からセザンヌまで
 - IV 20世紀の美術① キュビズムとフォーヴィスムの美術家たち
 - ◎ 横浜美術館の西洋美術 ハイライト(展示室2)
 - V 20世紀の美術② ダダとその前後、構成主義
 - チューリヒ、ベルリン、ハノーファー、ケルンのダダ
 - 構成主義とバウハウス
 - 魔術的リアリズム、ニューヨーク・ダダ
 - VI シュルレアリスムの美術—見えない自分を映し出す鏡を求めて
 - VII 第二次世界大戦後の美術
 - サザランドとフォートリエ
 - ウォーホルとボルタンスキー
- [ホワイエ&グランドギャラリー]
イサム・ノグチの彫刻/ブランクーシとシュルレアリスムの彫刻
- [回廊] 初代宮川香山

当館の西洋美術コレクションを通史的に展望する初の企画として、ダリ、マグリット、セザンヌらにとどまらず、これまで展示の機会が少なかった19世紀以前の作品を多数とり上げました。また、複製芸術としての版画と写真の相補的關係、20世紀美術における写真の役割に注目することで、日本における写真の発祥地のひとつ横浜の特色を反映させた企画としました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため、中止となったギャラリートークなどのイベントに替えて、「ヨココレチャンネル」(担当学芸員によるピックアップ作品解説)をオンライン上で動画配信しました。(全3回、計6本)

会 期: 令和2年2月15日(土)-5月24日(日)
*2月29日(土)-5月24日(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

開催日数: 12日

入場者数: 3,600人

出品作品数: 411件

出展作家: 158人

担 当: 中村尚明、金井真悠子、江口みなみ



横浜美術館コレクション展 2020年11月14日(土) - 2021年2月28日(日) ヨコハマ・ポリフォニー：1910年代から60年代の横浜と美術

「ポリフォニー」とは、独立した複数の旋律とリズムの声部から成る「多声音楽」を意味します。本展では横浜で生まれた作家たちの声や創作の響き合いに耳を傾け、横浜を磁場としたアートシーンを探訪するという趣旨のもと、大正期から高度成長期の美術を10章構成で紹介しました。

序章では、1910年(明治43) 創刊の雑誌『白樺』上で有島生馬がセザンヌを紹介したことに着目し、有島とセザンヌの女性像を並べて展示しました。続く第1章からは、1919年(大正8)の横浜美術協会発足をひとつの起点とし、関東大震災や第二次世界大戦の苦境を乗り越えながらも、国際化が進む社会のなかで作家たちの自立的な運動や多彩な表現が成熟していく過程をたどりしました。そして最終章では、1989年(平成元)の横浜美術館開館への布石となる動きとして、1964年(昭和39)に誕生した横浜市民ギャラリーにて40年にわたり開催された「今日の作家展」に光を当てました。

会期中には担当学芸員によるギャラリーリレートークを開催したほか、特集展示として紹介した洋画家・林敬二へのインタビューをウェブサイト上で公開するなど、オンラインコンテンツの発信も図りました。

会 期：令和2年11月14日(土)-令和3年2月28日(日)
*12月29日(火)-1月3日(日)は年末年始で休館
*2月11日(木・祝)は開館、2月12日(金)は休館

開催日数：87日

入場者数：45,498人

出品作品数：作品146件、資料14件、計160件

出展作家：71人

担 当：片多祐子、内山淳子、熊坂久美、柏木智雄

ヨコハマ・ポリフォニー：1910年代から60年代の横浜と美術

序 章 憧れの西洋美術

第1章 横浜美術協会創設前後—川村信雄とその周辺

第2章 フランスへの旅立ち

第3章 関東大震災からの復興

第4章 新版画の興隆—錦木清方から石渡江逸まで

第5章 横浜懐古—川上澄生の世界

第6章 横展写真部創設

第7章 ニューヨークでの活躍—岡田謙三とイサム・ノグチ

第8章 前衛美術のパイオニア—斎藤義重

第9章 ハマ展の洋画家と彫刻家

第10章「今日の作家展」

特集展示Ⅰ 宮川香山

特集展示Ⅱ 林 敬二



SNS 広告



SNS 広告デザイン：峯石景子

撮影：加藤 健 (p.16 ♡ 除く)



New Artist Picks 柵瀬茉莉子展 | いのちを縫う

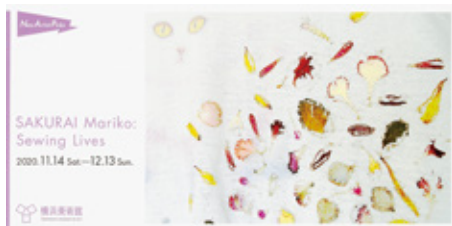
当館では、将来活躍が期待される若手作家を、いち早く取り上げる展覧会「New Artist Picks(NAP)」を毎年開催しています。令和2年度は、「縫う」ことを一貫して表現手段とする作家・柵瀬茉莉子(さくらい・まりこ/1987年生まれ)を紹介しました。

柵瀬にとって公立美術館で初の個展となる本展では、これまでの作品展開を追うとともに、生まれ育った佐島(神奈川県横須賀市)を舞台とした作家自身の個人史をテーマに新作を発表しました。

本展は当初令和1年度事業として3月14日(土)から4月12日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のために中止し展示を解体した後、会期を変更して開催しました。

再展示にあたっては、テーマとする「いのち」への感覚がコロナ禍で変化した状況を踏まえ、いくつかの変更を加えました。時を経て色が落ちてしまった草花は新たに縫いなおし、作家自身が同年6月の出産時に着ていた服をモチーフとした最新作《ユニフォーム》も加えました。また当館で開催予定であったワークショップは、「おうちワークショップ」と名称を変え、参加者がそれぞれ自宅で制作できるようキットを郵送し、展覧会最終日にオンラインで発表会を行う形式へ変更し実施しました。

主催: 横浜美術館
協力: GALERIE PARIS、Café小倉山
会場: アートギャラリー1、Café小倉山
会期: 令和2年11月14日(土) - 12月13日(日)
開催日数: 26日
観覧料: 無料
入場者数: 4,500人
出品作品数: 作品23件/関連資料4件
出展作家: 1人
担当: 片多祐子
リーフレット: 14頁、挟み込みシート1枚
発行・編集: 横浜美術館
執筆: 片多祐子「祈りと鎮魂—柵瀬茉莉子の縫いの所作」



DM



リーフレット

広報印刷物・リーフレットデザイン:
阿部太一

撮影:
1・3・5 山中慎太郎[Qsyum!]
4 加藤 健

調査研究・普及活動(個人)

紀要

横浜美術館研究紀要

第22号, 2021年

118頁

発行日: 令和3年3月31日(水)

発行部数: 500部

掲載論文:

- ・日比野民蓉「下村観山《魔障図》の変遷」
- ・内山淳子「資料紹介 入江家旧蔵『下村観山 画稿・素描等作品資料群』総覧」
- ・大澤紗蓉子「石内都《絶唱、横須賀ストーリー》のプリント表現について—コンタクトプリント、写真集、展示プリントの比較による—」
- ・沼田英子「研究ノート エドガー・ドガ《ルーヴル美術館考古展示室にて、メアリー・カサット》」
- ・中村尚明「イサム・ノグチと丹下健三による広島平和記念公園慰霊施設案コラボレーションの背景—記念施設としてのコミュニティ・センターを中心に」



収藏品目録

横浜美術館収藏品目録

2019年(令和1年度)

40頁

発行日: 令和3年3月31日(水)

発行部数: 500部



普及活動(個人)

◎執筆・寄稿

蔵屋美香

- ・『ウェブ版美術手帖』「ピーター・ドイグのリアルとヴァーチャル: ピーター・ドイグ展」, 2020年5月6日掲出
- ・『JOAN JONAS IN KYOTO 2019-2020』「シェイプ・シフティング、ジョナス: 《Re: Animation》のごく一部を深読みする」, 京都市立芸術大学ギャラリー, 2020年6月
- ・『有隣』571号「だいじょうぶ、すぐ近くに美術館があるのだから」, 有隣堂, 2020年11月
- ・「ゲンピどこでも企画×ゲンピ『広島ブランド』デザインスペシャル公募2020」特別審査員講評, 2020年12月23日掲出
- ・『ウェブ版美術手帖』「なぜ、エアロゾルか: 大山エンリコイサム『夜光雲』展」, 2021年1月22日掲出
- ・『みすず』700号「二〇二〇年読書アンケート」, みすず書房, 2021年2月
- ・『文藝春秋』「旬選ジャーナル55: 新聞各紙の年末『回顧』記事 コロナ禍で光った『文化財』」, 2021年3月号
- ・『竹村京: HALO コワレニテラス』「カイコはひとりぼっちじゃない: 竹村京のく修復された…」シリーズについて」, タカ・イシイギャラリー, 2021年2月

柏木智雄

- ・美連協ニュース150号「リレーエッセー」, 美術館連絡協議会

沼田英子

- ・会報『杜』48号「杜賞」審査講評, 東京藝術大学美術学部杜の会
- ・『シモーヌ (Les Simone)』Vol.2「画家メアリー・カサット—人生と作品」と和田彩花との対談「une 《femme》 peintre et une idole—“女性”画家とアイドルが表現すること」現代書館, 2020年5月

八柳サエ

- ・『別冊太陽』「松井冬子特集号」監修, 株式会社平凡社, 2021年1月刊行

片多祐子

- ・「再発見! 横浜と美術の知られざる接点」『横浜』Vol.70, 神奈川新聞社, 2020年10月20日

木村絵理子

- ・『美術の窓』巻頭特集「新人大図鑑2020」, 生活の友社, 2020年5月号
- ・『Casa Brutus』特集「Next Star's List」, 株式会社マガジンハウス, 2020年5月号
- ・「予兆としての作品世界」『日産アートアワード2020』カタログ, NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト], 2020年12月
- ・『美術手帖』「竹川宣彰インタビュー」, 株式会社美術出版社「美術手帖」編集部, 2021年2月号
- ・「ヨコハマトリエンナーレ2020: AFTERGLOW—光の破片をつかまえる/新型コロナウイルス感染拡大の影響下での開催」『ZENBI 全国美術館会議機関誌台19号』, 全国美術館会議, 2021年1月
- ・「あたらしい風景」『影山萌子』, MARUEIDO, 2021年3月

日比野民蓉

- ・第3回韓日文化財研究フォーラム「統計に見る解放以前の在日本朝鮮人美術留学生(金智英)」に対する討論文, 第3回韓日文化財研究フォーラム報告書, 2020年11月

◎発表・講演会・シンポジウム

蔵屋美香

- ・「東京大学 | 文化芸術におけるSDGsのためのファシリテーター養成事業における専門家会議」, 4月—2021年3月(全3回)
- ・アート・ゲート・プログラム「アートのちから」「人生にアートは必要か?」リモート講演, 三菱商事, 8月22日(土)
- ・THINK SCHOOL「現代美術をわかりたい人のために、あえて美術の歴史をさかのぼる講座」リモート講義, 一般社団法人PROJECTA, 9月5日(土)

- ・ラボカフェ／プロジェクトミーティング「美術館のいま(6)～横浜美術館とヨコハマトリエンナーレ2020」リモート講演,アートエリアB1運営委員会,10月2日(金)
- ・「鮭」展オンライントーク,アキバタマビ21,10月18日(日)
- ・「窓展:窓をめぐるアートと建築の旅」オンライントーク,丸亀市猪熊弦一郎現代美術館,2021年1月より配信
- ・「東京大学|文化芸術におけるSDGsのためのファシリテーター養成事業における専門家会議」オンラインシンポジウム,2月23日(火祝)

帆足亜紀

- ・ネットTAMミーティング美術部門登壇,公益社団法人企業メセナ協議会,11月23日(月祝)
- ・一般社団法人日本和文化振興プロジェクト第3回オンライン対談,12月23日(水)
- ・一般社団法人全国美術館会議第35回学芸員研修会登壇,一般社団法人全国美術館会議美術館運営制度研究部会,3月5日(金)
- ・都市型国際芸術祭のコロナ禍でのチャレンジについて議論,六本木アートナイトスピンオフプログラム,3月18日(木)

襟川文恵

- ・東京日本橋ロータリークラブの例会における卓話,10月14日(水)
- ・一般社団法人日本和文化振興プロジェクト第3回オンライン対談,12月23日(水)
- ・全国美術館会議第35回学芸員研修会(オンライン),3月5日(金)

木村絵理子

- ・SUPER DOMMUNE 共催シンポジウム「文化／地殻／変動 訪れつつある世界とそのあとに来る芸術」パネリスト,美術評論家連盟,5月16日(土)
- ・「TOKYO CANAL LINKS ビジネス×アート、トークシリーズ／アーティストと共に新しい未来を創る #04アートの今そして未来」トークイベント登壇,寺田倉庫株式会社,2月25日(木)
- ・「MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] Open Storage 2020-2021一拡張する収蔵庫」オンライン・トーク登壇,一般社団法人おおさか創造千島財団,3月10日(水)
- ・「やんばるアートフェスティバル2020-2021」スペシャル・トーク登壇『コロナ時代、ポストコロナにおける芸術祭のゆくえ』3月21日(日)

◎非常勤講師等

蔵屋美香

- ・多摩美術大学,美術学部絵画学科油画専攻3年「実技Ⅲ」,通年
- ・千葉大学,教育学研究科美術専攻1,2年「芸術学特論ⅡB」特別講義,2月4日(木)

柏木智雄

- ・慶應義塾大学,文学部「博物館経営論」,後期

帆足亜紀

- ・文化庁,「実演芸術連携交流事業」専門人材向けセミナー(オンライン),3月11日(木)

山崎 優

- ・秦野市幼稚園・こども園教育研究会事務局,実技研修会「幼児期の造形活動を支える教師の役割」講師,2月1日(月)
- ・和泉短期大学,子育てひろば「はっぴい」ボランティア学生対象オンライン講座「造形遊び」,2月4日(木)

端山聡子

- ・多摩美術大学,「生涯学習論R」(オンライン),前期
- ・多摩美術大学,「美術普及概論」(オンライン),後期

木下貴博

- ・横浜美術大学,3年生「彫刻表現Ⅰ」「彫刻表現Ⅱ」(オンライン),前期(一部実技後期)

八柳サエ

- ・昭和女子大学,人間文化学部「博物館情報・メディア論」通年
- ・筑波大学,芸術専門学群芸術系「学外演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(芸術支援学)」指導助言,8月5日(水)
- ・法政大学,芸術科目「美術館の役割」,12月10日(木)

襟川文恵

- ・横浜美術大学,保存修復コース「クリエイター・サバイバル論」(オンライン),7月28日(火),12月15日(火)
- ・青山学院大学大学院,総合文化政策学研究所「政策マネジメント特殊講義Ⅱ」(オンライン),1月20日(水)

木村絵理子

- ・共立女子大学,「博物館学概論」,後期
- ・女子美術大学,「アートプロデュース概論」,後期

日比野民蓉

- ・東洋英和女学院大学,「芸術学B」,7月9日(木)
- ・慶應義塾大学,文学部「美術Ⅱ」,後期
- ・明治大学,「教養講座B」,11月25日(水)

◎委員・審査員等

蔵屋美香

- ・山梨県立美術館専門委員
- ・弘前市美術作品等収集選定委員会委員
- ・第38回京都市賞思想・芸術部門委員候補選定委員会委員
- ・豊田市美術館収集委員
- ・愛知県美術館美術品収集委員会
- ・広島市現代美術館ゲンビどこでも企画×ゲンビ「広島ブランド」デザインスペシャル公募2020特別審査員
- ・一般財団法人奈良美智財団理事
- ・横浜文化賞選考委員
- ・横浜赤レンガ倉庫1号館振付家制度審査員

柏木智雄

- ・横浜市文化観光局文化振興課,横浜文化賞選考委員会委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会,芸術文化振興基金運営委員会美術専門委員会および文化施設展示活動専門委員会の専門委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会,芸術文化振興基金運営委員会多分野共同等専門委員会の専門委員
- ・文化庁令和2年度(第71回)芸術選奨推薦委員
- ・東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員会委員(美術部門)
- ・日本経済新聞社「第8回東山魁夷記念日経日本画大賞」推薦委員
- ・横須賀美術館運営評価委員

帆足亜紀

- ・公益財団法人小笠原敏晶記念財団助成事業選考委員(文化芸術担当)
- ・トーキョーアーツアンドスペース外部評価委員会委員

調査研究・普及活動（個人）

沼田英子

- ・東京都現代美術館美術資料収蔵委員会（コレクション部会）委員
- ・令和2年度第1回国立西洋美術館美術作品購入等選考委員会委員
- ・令和2年度第2回国立西洋美術館美術作品購入等価格評価委員会評価員

山崎 優

- ・上田市立美術館協議会委員

内山淳子

- ・川崎市岡本太郎美術館資料収集評価審査会学識経験者

松永真太郎

- ・東京国立近代美術館美術作品評価員（写真部門）

端山聡子

- ・藤沢市教育委員会文化芸術課，藤沢市アートスペース運営協議会委員
- ・第21回カナガワビエンナーレ国際児童画展第一次審査会審査員

八柳サエ

- ・アート・ドキュメンテーション学会，2021-2022年度役員選出委員会委員
- ・公益財団法人佐藤国際文化育英財団佐藤美術館奨学生選考委員
- ・川越市立美術館美術品等選考評価委員会委員

襟川文恵

- ・一般社団法人日本和文化振興プロジェクト「日本和文化グランプリ」審査委員

木村絵理子

- ・アーツコミッション・ヨコハマ「2020年度U39アーティスト・フェローシップ」審査員
- ・アートアワードトーキョー丸の内2020審査員
- ・ライオン株式会社「NONIO ART WAVE AWARD 2021」審査員
- ・「シェル美術賞2020」審査員

森 未祈

- ・学校法人写真学園東京総合写真専門学校評議員

◎その他

帆足亜紀

- ・せんだいメディアテーク「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」アドバイザー
- ・公益社団法人企業メセナ協議会 ネットTAM ミーティングの第三弾（ジャンル横断編）オンライン登壇，1月31日（日）

松永真太郎

- ・独立行政法人国際交流基金「Relay to Tokyo: Inheriting and Gathering」キュレーター（於：国立ビザンチン&クリスチャン美術館，アテネ，ギリシャ）

木村絵理子

- ・NPO 法人アーツユニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]，「日産アートアワード2020」ファイナリスト・トーク出演
- ・東京藝術大学 GAP 専攻 M2 展講評
- ・公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京，令和2年度第2期東京芸術文化創造発信助成（美術・映像分野）に関する有識者ヒアリング，10月22日（木）

- ・研究助成“Monumentality”，The Getty Research Institute Scholars Program
- ・独立行政法人国際交流基金オンライン展覧会「11 Stories in Distanced Relationships: Contemporary Art from Japan」

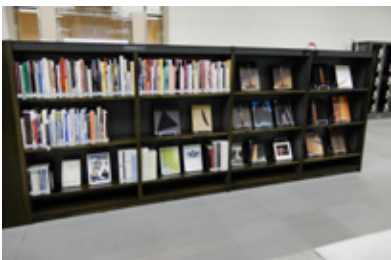
美術情報センターの活動



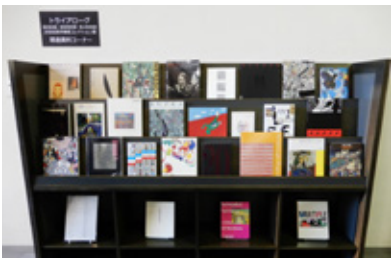
特別資料展示 ヨコハマトリエンナーレ2020



特別資料展示 ヨコハマトリエンナーレ2020



澄川喜一展関連資料コーナー



トライアローグ展関連資料コーナー



ライブラリー・トーク関連資料 展示風景



新型コロナウイルス感染症対策を施したカウンター

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。また、所蔵資料を活用し、コレクション展との連携を行っています。

開室時間：10:00～18:00（入室および各種利用受付17:30まで）

* 年末年始及び特別整理期間は休室

* 4月1日（水）-7月16日（木）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休室

収集・整理・保存・利用状況

収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	170冊	1,682冊	1,852冊
洋書	14冊	234冊	248冊
和カタログ	0冊	1,965冊	1,965冊
洋カタログ	0冊	342冊	342冊
収集総数			4,407冊
蔵書総数			206,450冊
逐次刊行物			3,456タイトル

利用状況

開室日数	191日
利用者数	4,745人
レファレンス	362件
閉架資料利用	1,579冊
コピー利用	189件
ビデオ利用	1件
マイクロ資料利用	0件

所蔵資料貸出

美術情報センター外への所蔵資料貸出

*「美術品の収集、保存・修復、貸出」の貸出
参照(pp.43-45/令和2年度は貸出なし)

- コレクション展「ヨコハマ・ポリフォニー」
展示資料8件貸出
11月14日（土）-2月28日（日）

資料展示・公開等

特別資料展示

- ヨコハマトリエンナーレ2020
「資料で振り返る横浜トリエンナーレ」【前期】
7月17日（金）-9月2日（水） 36点
- 「資料で振り返る横浜トリエンナーレ」【後期】
9月4日（金）-2月28日（日） 31点

資料展示架

- 澄川喜一展関連資料コーナー
「そりのあるかたち」とは？ 展覧会図録で
迎える彫刻家・澄川喜一の軌跡
7月17日（金）-8月5日（水） 24点
- トライアローグ展関連資料コーナー
「トライアローグ：横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」展
8月7日（金）-2月28日（日） 27点

コレクション展関連資料コーナー

- 「横浜美術館 展覧会カタログのあゆみ 1989-2020」
7月17日（金）-2月28日（日） 126点

オンラインイベント

市民のアトリエ共同講座

ライブラリー・トーク vol.3

畠山直哉「図書館で出会う写真」

*市民のアトリエ ワークショップ ライブラリー・トーク 参照(p.37)

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、企画展やコレクション展に多角的な視点で関わる〔鑑賞サポート〕と、アトリエを中心に展開される〔創作・造形プログラム〕とを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発・医療・福祉など、地域や社会と連携した取組みも積極的に行っています。

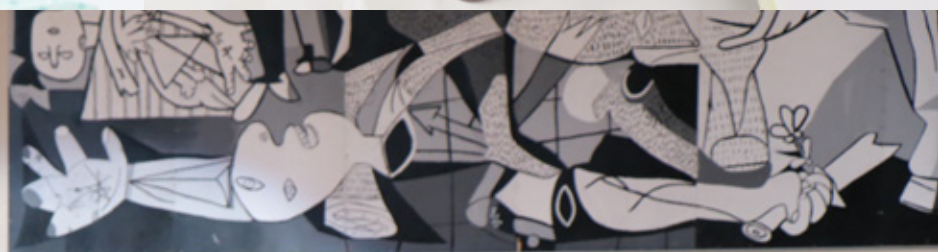
鑑賞サポートには、学芸グループによる企画展関連プログラムと、教育普及グループ「教育プロジェクト」によるコレクション展関連プログラムがあります。学芸グループは企画展における学芸員や多彩なゲスト、アーティストによる講演会やトーク、シンポジウムなどを開催し、「教育プロジェクト」は職員の持つ専門性を活かしたコレクション展ギャラリートーク、鑑賞ボランティアによる企画展鑑賞前のガイダンス、中高生を対象にした個人向けや学校向けのプログラムなど、市民協働の担い手を育成し、学校教育や地域の福祉支援団体と連携して美術館を市民生活に繋げる取組みを行っています。

「子どものアトリエ」は、小学校6年生(12歳)までの子どもを対象とし、主体性の獲得を目的にエドゥケーターによるさまざまな造形体験を提供しています。「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校などの教育機関と連携し造形や鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」を、休日には個人を対象とした「親子のフリーゾーン」や「造形講座」を行っています。春と夏には「教師のためのワークショップ」を開催し、指導者への研修事業に取り組んでいます。

「市民のアトリエ」は、12歳以上を対象に、「つくる」プロセスを通して市民と作家、市民と市民が出会い、美術に親しむ場を提供しています。本格的な設備を有する「立体室」「平面室」「版画室」では、楽しくアートとふれあう講座から専門的な創作体験まで、幅広いワークショップを展開し、さらに各室を「オープンスタジオ」として開放し、市民の自主的な制作を支援しています。また、エドゥケーターと学芸員の連携により、展覧会に関する作品・作家、技法紹介など多彩なプログラムを企画し、より深い鑑賞へと誘います。

令和2年度の総括

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定されていた教育普及活動は年度当初から8月まで休止となり、この状況は、来館できなくとも鑑賞や講座に参加できるデジタルコンテンツの発信に取り組む契機となりました。「澄川喜一展」では作家インタビューやVR映像の配信、ヨコハマトリエンナーレ2020では、出品作家関連プログラム、ガイドサポーター(市民協働)のトーク活動にオンラインを活用する新たな試みを行いました。「トライアログ展」「コレクション展」ではエドゥケーター、キュレーターの専門性を活かし、当館所蔵のいくつかの作品について、技法や細部をクローズアップで紹介する映像、ギャラリートークや作家インタビューの映像、また、ルネ・マグリットの《王様の美術館》から着想した物語を募集し、入選作品を俳優・ダンサーの森山未来が朗読する映像などを、展覧会特設サイトや、美術館ウェブサイトに新設した「エドゥケーション・チャンネル」などで配信しました。感染防止対策を万全にとり、通常の館内プログラムやギャラリートークを継続しつつ、チームやグループを超えて取り組んだ数々の試行は、リニューアル後の教育普及事業について検討する上で実践の機会となりました。





企画展

◎澄川喜一展

記念対談 澄川喜一×深井 隆

日時:2月22日(土) 14:00~15:30

出演:澄川喜一(本展作家)

深井 隆(彫刻家/東京藝術大学名誉教授)

会場:レクチャーホール

参加人数:60人

「抽象彫刻の魅力『澄川喜一の世界』」

*市民のアトリエ ワークショップ等 展覧会関連プログラム 参照(p.36)

オンライントーク

- 「日経VR」で「澄川喜一 そりとむくり」展 4月22日(水)
- 「澄川喜一 そりとむくり」展展覧会紹介動画 5月22日(金)
- 展覧会紹介動画「澄川喜一が語る『澄川喜一 そりとむくり』展」 7月3日(金)

◎ヨコハマトリエンナーレ2020

エピソード00

ソースの共有

日時:2019年11月29日(金)・30日(土) 14:00~18:00

出演者:新宅加奈子(参加作家)

田村友一郎(参加作家)

イヴァナ・フランケ(参加作家)

ランティアン・シエ(参加作家)

インヤム・ベラダ(参加作家)×小松

千倫(音楽)

西岡 愛(朗読)

ラクス・メディア・コレクティヴ(アーティストティック・ディレクター)

会場:プロット48

参加人数:141人,163人

エピソードX

- オンライン
 - ・岩井 優《マジックアワー(エピソードのために)》 日程:7月3日(金) 公開
 - ・アモル・K・パティル《じっと見つめる》 日程:7月4日(土) 公開
 - ・アモル・K・パティル《ひと休み》 日程:7月5日(日) 公開
 - ・竹村 京《Time Counter》パフォーマンス 日程:7月6日(月) 公開
 - ・エレナ・ノックス「ヴォルカナ・ブレランス トーム」 日程:7月7日(火) 公開
 - ・ファームিং・アーキテツク《空間の連立》 日程:7月8日(水) 公開

- ・岩井 優《アクションの積み重ね(エピソードのために)》 日程:7月9日(木) 公開
- ・メイク・オア・ブレイク《歩きながらまちと対話する(黄金町/パラマタ)》 日程:7月10日(金) 公開
- ・川久保ジョイ《ループのあととあのプール》 日程:7月11日(土) 公開
- ・デニス・タン《自転車ベルの件》パフォーマンス(三軒茶屋) 日程:7月12日(日) 公開
- ・新宅加奈子《I'm still alive》パフォーマンス 日程:7月13日(月) 公開
- ・タウス・マハチェヴァ《目標の定量的無限性》 日程:7月14日(火) 公開
- ・ハイグ・アイヴァジアン《1、2、3 ソレイユ!(2020)》 日程:7月15日(水) 公開
- ・岩井 優《ヨコハマで黒鉛と遊ぶ(エピソードのために)》 日程:7月16日(木) 公開
- ・ヨコハマトリエンナーレ2020、本日動き出す 日程:7月17日(金) 公開
- ・ニック・ケイヴ《回転する森》ができるまで 日程:9月2日(水) 公開

エピソード01

討議的正義をめぐる議論:アフターパーティー

- オンライン
 - 日時:10月17日(土) 23:00~(日本時間)
 - 会場:香港,ヨハネスブルグからオンライン配信
 - 視聴者数:452人

エピソード02

討議的正義をめぐる議論:中断された時間のためのセノグラフィ

- 展示
 - 日程:7月3日(金)-8月14日(金)
 - 会場:52 Kimberly road, Lorentzville, Johannesburg.(南アフリカ)
 - 入場者数:48人

エピソード03

討議的正義をめぐる議論:気配を感じて

- 展示
 - 日程:7月17日(金)-10月11日(日)
 - 会場:横浜美術館
 - 出品作家:マーヴ・エスピナ, PUGMENT
- ウェビナー
 - 日時:10月9日(金) 17:00~20:00 (日本時間)
 - 10月10日(土) 3:00~5:05, 17:00~21:00(日本時間)
 - 視聴者数:643人

- オンライン
 - マーヴ・エスピナ《空気でできた灯台》
 - 日程:1月15日(金) 公開

エピソード04

インティ・ゲレロ「熱帯と銀河のための研究所」

- 展示
 - 日程:7月17日(金)-10月11日(日)
 - 会場:横浜美術館
 - *本展会期中の通期展示

エピソード05

刷音《SURE INN》

- オンライン
 - 日時:8月22日(土) 20:00~22:00
 - 視聴者数:900人
- 展示
 - 日程:8月21日(金)-10月11日(日)
 - 会場:プロット48 休憩ラウンジ

エピソード06

岩井 優《彗星たち》

*市民のアトリエ ワークショップ等 展覧会関連プログラム 参照(p.36)

エピソード07

イシュ・シェヘラーワト(イシュ・S)、ヴェンザ・クリスト「サウンド・リーズン」

- 展示
 - 日時:9月16日(水)-27日(日) 10:00~18:00
 - 会場:レクチャーホール
 - 入場者数:3,267人

エピソード08

田村友一郎《舎密/The Story of C》

- オンライン
 - 10月1日(木)より順次公開
- 展示
 - 日程:10月2日(金)-11日(日) 10:00~18:00
 - *10月2日(金)・3日(土)・8日(木)・9日(金)・10日(土)は21:00まで展示
 - *10月11日(日)は20:00まで展示
 - 会場:レクチャーホール, オンライン配信
- パフォーマンス
 - 日程:10月10日(土)・11日(日)
 - 入場者数:2,584人
 - 視聴者数:1,672人

エピソード09

デニス・タン《自転車ベルの件》

- 展示
 - 日程:7月17日(金)-10月11日(日)
 - 会場:プロット48
 - *本展会期中の通期展示



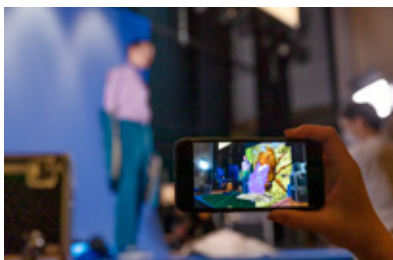
澄川喜一展 記念対談



澄川喜一展 展覧会紹介動画



ヨコハマトリエンナーレ2020 ソースの共有 撮影:加藤 甫



ヨコハマトリエンナーレ2020 エピソード08 撮影:大塚敬太



中学生プログラム ヨコハマトリエンナーレ2020



中学生プログラム ヨコハマトリエンナーレ2020

- オンライン
11月10日(火) 公開
視聴者数:51人

エピソード10 間質

- オンライン
13名のアーティストが「ヨコハマトリエンナーレ2020」のために制作した短編映像作品を公開。
日程:10月5日(月) 公開

会場展示作品のオンライン上映
ヨコハマトリエンナーレ2020の映像作品の一部を期間限定公開。
日程:10月6日(火) 18:00~11日(日) 23:59
(日英字幕)

ヨコハマトリエンナーレ2020と学校をつなぐオンライン鑑賞会

- *鑑賞サポート 人材育成事業 横浜美術館 コレクションと学校をつなぐ鑑賞会 参照 (p.31)

日産アートアワード2020連携パネルディスカッション(オンライン)

ニューノーマルにおけるキュレーター、アーティストの新たな視点

- 主催:自動車株式会社
共催:横浜トリエンナーレ組織委員会
日時:8月4日(火) 19:00~20:30
出演:ウテ・メタ・パワー(南洋理工大学シンガポール現代アートセンター NTU CCA Singapore 創設者,同大学美術・デザイン・メディア学部教授/日産アートアワード 2020 国際審査委員)
ラクス・メディア・コレクティブ(ヨコハマトリエンナーレ2020 アーティストック・ディレクター)
蔵屋美香(ヨコハマトリエンナーレ組織委員会副委員長)
南條史生(森美術館特別顧問/日産アートアワード2020 国際審査委員長)
モデレーター:
堀内奈穂子(NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]ーキュレーター/日産アートアワード企画・運営事務局)

中学生プログラム ヨコハマトリエンナーレ2020

担当:関 淳一, 端山聡子, 古藤 陽

- 第1回「アートを体験する編」はじめに
日時:8月23日(日) 13:00~16:00
講師:端山聡子, 関 淳一
オンライン
参加人数:13人

- 第2回「アートを体験する編」アーティストと出会う①
日時:9月6日(日) 13:00~16:00
講師:青野文昭(参加作家)
オンライン
参加人数:15人

- 第3回「アートを体験する編」アーティストと出会う②
日時:9月20日(日) 13:00~16:00
講師:新井 卓(参加作家)
オンライン
参加人数:15人

- 第4回「アートを体験する編」展示の見学・蔵屋館長のお話
日時:10月4日(日) 13:00~16:00
講師:蔵屋美香
会場:展示室, 円形フォーラム
参加人数:15人

- 第5回「アートを体験する編」アーティストと出会う③
日時:10月11日(日) 13:00~16:00
講師:竹村 京(参加作家)
会場:8階スクールスペース
参加人数:10人

- 第6回「アートを体験する編」広瀬浩二郎さんと出会う
日時:11月8日(日) 13:00~16:00
講師:広瀬浩二郎(国立民族学博物館 准教授)
会場:8階スクールスペース
参加人数:14人

- 第7回「アートを伝える編」今までのまとめ/後半で取り組むテーマを考える
日時:11月22日(日) 13:00~16:00
会場:8階スクールスペース
参加人数:12人

- 第8回「アートを伝える編」グループワーク
日時:12月13日(日) 13:00~16:00
会場:8階スクールスペース
参加人数:11人

- 第9回「アートを伝える編」グループワーク
日時:1月31日(日) 13:00~16:00
オンライン
参加人数:13人

- 第10回「アートを伝える編」成果報告会
日時:2月28日(日) 13:00~16:00
オンライン
参加人数:14人

鑑賞サポート

ガイドサポーター「オンラインガイド ココがみどころ！」

*鑑賞サポート ボランティアによるトーク参照(p.31)

「さとうりさんの作品を体験しよう！」

*子どものアトリエ 個人の造形講座 展覧会 関連ワークショップ 参照(p.34)

オンライン・トーク「飯川雄大の思考をつかまえる」

*市民のアトリエ ワークショップ等 展覧会 関連プログラム 参照(p.36)

ろう者のための美術鑑賞ワークショップ

日時:9月19日(土) 16:00~18:00
10月25日(日) 14:00~16:30

講師:端山聡子

齊藤佳代(鑑賞ファシリテーター)

コーディネーター:荒木夏実(東京藝術大学 美術学部准教授/キュレーター)

進行:菅野奈津美(ろう学校教諭)
牧原依里(映画作家)

オンライン

参加人数:12人,12人

◎トライアローク展

記念鼎談

「推し! 3館長が語りつくすコレクション」

日時:11月14日(土) 14:00~15:30

登壇者:雪山行二(富山県美術館館長)

南 雄介(愛知県美術館館長)

蔵屋美香

会場:レクチャーホール

参加人数:60人

作品募集「《王様の美術館》からつむぐ物語」

*市民のアトリエ ワークショップ等 展覧会 関連プログラム 参照(p.36)

鑑賞サポートアプリ

日時:12月21日(月)~2月28日(日)

担当:襟川文恵, 金井真悠子

共同開発:株式会社野村総合研究所

監修:横浜美術館

形式:ウェブ・アプリケーション

料金:無料

アクセス数:25,197回

展覧会鑑賞ダイアログ

日時:10月2日(金) 18:00~19:30

11月27日(金) 16:30~18:00

12月12日(土) 10:30~12:00

2月19日(金) 16:30~18:00

参加人数:6人,5人,4人,6人

学芸員によるスライドレクチャー

日時:(各土曜日)1月9日・16日,2月13日

14:00~14:40

担当:松永真太郎, 金井真悠子, 大澤紗蓉子

会場:レクチャーホール

参加人数:28人,42人,75人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

澄川喜一展

●学芸員によるギャラリートーク

日時:(各土曜)3月7日,4月4日,5月9日

14:00~14:30

5月15日(金) 18:30~19:00

●記念鼎談 澄川喜一×内藤 廣×逢坂恵理子

日時:3月20日(金祝)

14:00~15:30

出演:澄川喜一(本展作家)

内藤 廣(建築家)

逢坂恵理子

●シティガイドと歩く 澄川喜一展連携ガイドツアー

日時:3月15日(日)・25日(水),4月3日(金)

9:30~12:45

●澄川喜一によるギャラリートーク

日時:5月2日(土) 14:00~15:00

出演:澄川喜一(本展作家)

ヨコハマトリエンナーレ2020

キュレータートーク「木村絵理子ガイドツアー」

日時:7月31日(金) 17:00~18:30

*単独開催は中止,8月30日(日)のオンライントークと合同開催



ろう者のための美術鑑賞ワークショップ



トライアローク展 記念鼎談



コレクション展 ギャラリーリレートーク



榎瀬茉莉子展 アーティストトーク



横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会



ヨコハマトリエンナーレ2020 ガイドサポーター

コレクション展

◎「横浜美術館の西洋美術」
2020年2月15日(土)-5月24日(日)

担当学芸員によるピックアップ作品解説(動画配信)

- ヴァシリイ・カンティンスキー《網の中の赤》
日程:3月31日(火)
担当:江口みなみ
- ①ウィリアム・ブレーク《繁栄を回復したヨブとその妻》『ヨブ記』第21回
②ジョン・マーティン《サタンに対するイシュリエルとゼボン》ジョン・ミルトン『失楽園』より
③フレデリック・クリスチャン・ルイス(刻)『ミュージアム・クロード』パート3、No.4(クロード・ロランの原画による)
日程:4月28日(火)
担当:金井真悠子
- ウルス・グラーフ《百卒長のいるキリスト磔刑》(前半・後半)
日程:5月8日(金)
担当:中村尚明

◎「ヨコハマ・ポリフォニー」
2020年11月14日(土)-2021年2月28日(日)

担当学芸員によるギャラリーリレートーク

日時:11月20日(金)・25日(水)・30日(月)
14:00~14:20

担当:片多祐子,内山淳子,熊坂久美
会場:コレクション展展示室
参加人数:10人,6人,10人

オンライントーク(作品紹介映像配信)

12月16日(水)公開

- 林敬二氏 自作を語る(出演:林 敬二/出品作家,担当:片多祐子,古藤 陽)
- 長谷川潔の作品と技法(出演:関 淳一)
- 奥村泰宏と横浜(出演:北川裕介,古藤 陽)

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

「横浜美術館の西洋美術」

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時:2月28日(金),3月21日(土),
4月18日(土),5月3日(日祝)
14:00~14:30

●エドゥケーターによるギャラリートーク

日時:(各金曜)3月13日・27日,4月10日・
24日 14:00~14:30
5月8日・22日 18:00~18:30

特別支援学校のための鑑賞プログラム

本郷特別支援学校
日時:1月15日(金) 10:00~11:30

横浜訓盲学院

日時:2月3日(水) 10:00~11:30

New Artist Picks

◎柵瀬茉莉子展

アーティストトーク

日時:12月5日(土) 14:00~15:00
講師:柵瀬茉莉子(出品作家)
会場:レクチャーホール
参加人数:73人

おうちワークショップ「木の葉を縫う、持ち歩く」

*市民のアトリエ ワークショップ等 展覧会関連プログラム 参照(p.36)

人材育成事業

◎横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会

日時:(各土曜)8月1日・29日,12月5日
10:30~11:30

担当:端山聡子,関 淳一,古藤 陽
会場:オンライン(8月1日・29日)
8階スクールスペース(12月5日)
参加人数:11人,13人,13人

◎横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会

日時:12月23日(水) 15:30~16:45
担当:端山聡子,古藤 陽
会場:8階スクールスペース
参加人数:20人

◎教師向け研修等

受入件数:1件
参加人数:55人(うち16人/オンライン)
受入団体:横浜市立中学校教育研究会美術科部会(2月)

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会
5月9日(土),7月4日(土) 10:30~11:30

横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会

5月16日(土),6月6日(土),12月5日(土)

教師向け研修等

横浜市小学校図画工作教育研究会(4月)
横浜市立中学校美術研究回(5月)

ボランティアによるトーク

◎団体向け

ヨコハマトリエンナーレ2020「オンラインガイド ココがみどころ!」(交流型)

日時:(各火曜)8月25日,9月1日・8日・15日・
22日・29日,10月6日
(各金曜)8月21日・28日,9月4日・11日・
18日・25日,10月2日・9日
(各土曜)8月22日・29日,9月5日・12日・
19日・26日,10月3日
(各日曜)8月23日・30日,9月6日・13日・
20日・27日,10月4日
9月16日(水),9月21日(月祝),10月7日(水)
10:00~17:00(各回約40分)

担当:端山聡子,北川裕介
実施回数:81回
参加人数:延べ783人

◎個人向け

ヨコハマトリエンナーレ2020「オンラインガイド ココがみどころ!」(交流型)

日時:9月16日(水)・21日(月祝),10月7日(水)
担当:端山聡子,北川裕介
実施回数:5回
参加人数:6人,7人,11人,10人,7人

◎外国人向け

ヨコハマトリエンナーレ2020「オンラインガイド ココがみどころ!」(交流型)
(英語・中国語版)

日時:英語版 9月26日(土) 2回
中国語版10月2日(金) 1回
担当:端山聡子,北川裕介
参加人数:3人,8人,5人

◎OriHime 鑑賞会

日時:9月1日(火)・4日(金)・6日(日)
担当:端山聡子,北川裕介
参加人数:1人,2人,2人

◎配信型

ヨコハマトリエンナーレ2020「オンラインガイド ココがみどころ!」(配信型)

8月23日(日)より公開 全12プログラム

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(19校) [幼稚園・保育園11園/小学校4校/特別支援・各種学校4校]

時間: 10:00~12:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 柳川文秀, 大岩久美, 太田雅子

年間参加者数: 527人

5月12日(火)	横浜市立みなとみらい本町小学校	-	10月21日(水)	おおくらやまえぎまへのぞみ保育園	28人
5月13日(水)	りとる・ルーナ保育園、星川ルーナ保育園	-	10月23日(金)	横浜市立東保野特別支援学校	-
5月15日(金)	寿福祉センター保育所	-	10月27日(火)	横浜市立峯小学校	15人
5月19日(火)	横浜市立小山台小学校	-	10月28日(水)	入船の森保育園	14人
5月20日(水)	神奈川県立横浜南養護学校(小学部)	-	10月30日(金)	横浜市立石川小学校	16人
5月22日(金)	八幡橋幼稚園	-	11月6日(金)	浦島保育園	27人
5月26日(火)	横浜市立南吉田小学校	-	11月10日(火)	横浜市立中和田南小学校	-
5月27日(水)	横浜国立大学教育学部 附属特別支援学校(小学部)	-	11月11日(水)	横浜市立盲特別支援学校(小学部)	16人
5月29日(金)	オハナ鶴見保育園	-	11月13日(金)	捜真幼稚園	45人
6月3日(水)	関東幼稚園	-	11月17日(火)	横浜市立矢部小学校	-
6月5日(金)	横浜市立羽沢小学校	-	11月18日(水)	あづまの幼稚園	-
6月9日(火)	大谷幼稚園	-	11月20日(金)	横浜市立高田東小学校	-
6月10日(水)	横浜市立相沢小学校	-	11月24日(火)	高風保育園	26人
6月12日(金)	磯子区個別支援学級合同	-	11月25日(水)	横浜市立神奈川小学校	19人
6月16日(火)	横浜市立川和小学校	-	11月27日(金)	都筑区個別支援学級合同	31人
6月17日(水)	芙蓉保育園	-	12月1日(火)	東戸塚こども園	-
6月19日(金)	横浜市立中川西小学校	-	12月2日(水)	横浜市立元街小学校	29人
6月23日(火)	トトコ幼稚舎	-	12月4日(金)	横浜朝鮮初級学校	-
6月24日(水)	南区個別支援学級合同	-	12月8日(火)	アスク戸塚保育園	-
6月30日(火)	横浜市立折本小学校	-	12月9日(水)	横浜市立二つ橋小学校	-
7月1日(水)	鶴見朝鮮初級学校(幼稚部)	-	12月11日(金)	岩間保育園	21人
7月3日(金)	南幼稚園	-	1月12日(火)	ひかりの風保育園	-
7月7日(火)	横浜市立権太坂小学校	-	1月13日(水)	横浜市立浜小学校	-
7月8日(水)	霞ヶ丘幼稚園	-	1月15日(金)	瀬谷区個別支援学級合同	-
7月10日(金)	横浜市立白根小学校	-	1月19日(火)	横浜市立平戸小学校	-
9月11日(金)	つくの幼稚園	45人	1月20日(水)	みんなともだち保育園	29人
9月15日(火)	横浜市立二俣川小学校	-	1月22日(金)	横浜市立東汲小学校	-
9月16日(水)	ポピンズナーサリースクール馬車道	18人	1月26日(火)	元町幼稚園	-
9月18日(金)	鶴見区個別支援学級合同	43人	1月27日(水)	横浜市立鴨志田緑小学校	-
9月23日(水)	横浜市立豊岡小学校	-	1月29日(金)	横浜市立中村特別支援学校(小学部)	-
9月25日(金)	旭区個別支援学級合同	-	2月2日(火)	横浜市立神橋小学校	-
9月29日(火)	天使幼稚園	-	2月3日(水)	YMCAいずみ保育園	-
9月30日(水)	横浜市立小菅ヶ谷小学校	-	2月5日(金)	横浜市立本牧南小学校	-
10月9日(金)	大谷学園幼稚園	-	2月9日(火)	ポピンズナーサリースクール横浜 十日市場・小机	-
10月13日(火)	立正幼稚園	34人	2月10日(水)	神奈川区個別支援学級合同	-
10月14日(水)	東京横浜ドイツ学園(幼稚科)	33人	2月16日(火)	横浜市立さつきが丘小学校	-
10月16日(金)	横浜市立桜台小学校	-	2月17日(水)	東戸塚保育園	38人
10月20日(火)	横浜市立鴨居小学校	-			



学校のためのプログラム



学校のためのプログラム



ポップアップをつくろう



スタンプアート



焼きものでクリスマスの飾りをつくろう



見てつくってみよう

親子のフリーゾーン

日時:原則日曜 10:00~11:30

会場:子どものアトリエ

担当:柳川文秀,大岩久美,太田雅子

対象:小学生以下のお子さんとその保護者

参加費:小学生以下無料,保護者および中学生以上100円

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月12日(日)-2月21日(日)の親子のフリーゾーンは中止

4月12日(日)	0人	9月20日(日)	0人
4月19日(日)	0人	10月4日(日)	0人
4月26日(日)	0人	10月11日(日)	0人
5月10日(日)	0人	10月18日(日)	0人
5月17日(日)	0人	11月1日(日)	0人
5月24日(日)	0人	11月8日(日)	0人
6月7日(日)	0人	11月15日(日)	0人
6月14日(日)	0人	11月29日(日)	0人
6月21日(日)	0人	12月6日(日)	0人
7月5日(日)	0人	12月13日(日)	0人
7月12日(日)	0人	1月17日(日)	0人
7月19日(日)	0人	1月24日(日)	0人
8月2日(日)	0人	1月31日(日)	0人
8月9日(日)	0人	2月7日(日)	0人
8月23日(日)	0人	2月14日(日)	0人
9月6日(日)	0人	2月21日(日)	0人
9月13日(日)	0人		

募集リーフレット

横浜美術館 子どものアトリエプログラム『ピコラガイド』『親子のフリーゾーンガイド』の発行



個人の造形講座

担当: 柳川文秀, 大岩久美, 太田雅子
 会場: 子どものアトリエ
 年間参加者数: 311人

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

9月 ポップアップをつくろう
 日時:[3回] 9月6日・13日・20日
 14:00~16:00
 講師: 三ツ山一志(造形教育家)
 参加費: 4,500円
 対象: 小学校1・2・3年生
 参加人数: 9人/回

10月 スタンプアート

日時:[3回] 10月4日・11日・18日
 14:00~16:00
 講師: 柳川文秀
 参加費: 4,500円
 対象: 幼稚園・保育園の年長児
 参加人数: 9人/回

11月 焼きものでクリスマスの飾りをつくろう

日時:[3回] 11月1日・8日・15日
 14:00~16:00
 講師: 柳川文秀
 参加費: 5,000円
 対象: 小学校4・5・6年生
 参加人数: 10人/回

12月 見てつくってみよう

日時:[2回] 12月6日・13日
 14:00~16:00
 講師: 大岩久美
 参加費: 3,000円
 対象: 小学校1・2・3年生
 参加人数: 10人/回

1月 ビニールテープであそぼう

日時:[3回] 1月17日・24日・31日
 14:00~16:00
 講師: うめぐみ(造形ワークショップユニット)
 参加費: 4,500円
 対象: 幼稚園・保育園の年長児
 参加人数: 7人/回

◎わくわく1日造形講座

ちいさな油絵A・Bコース
 日時:Aコース 2月7日(日) 14:00~16:00
 Bコース 2月14日(日) 14:00~16:00
 講師: 東麻奈美(アーティスト)
 参加費: 各2,000円
 対象: 小学校1・2・3年生
 参加人数: A9人, B9人

◎長期日曜造形講座

日本画クラブ
 日時:[6回] 1月17日・24日・31日
 2月7日・14日・21日 14:00~16:30
 講師: 山崎 優
 参加費: 10,000円
 対象: 小学校4・5・6年生
 参加人数: 8人/回

◎展覧会関連ワークショップ

**ヨコハマトリエンナーレ2020関連企画
 「さとうりさんの作品を体験しよう!」**
 日時: 8月25日(火) 8:40~12:10
 講師: さとうりさ(参加作家)
 会場: 横浜市立みなとみらい本町小学校
 参加人数: 120人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

わくわく日曜造形講座

- 5月 えのぐであそぼう
 日時:[3回] 5月10日・17日・24日
 14:00~16:00
- 6月 木で車をつくろう
 日時:[2回] 6月7日・14日
 14:00~16:00
- 7月 ガラスアート
 日時:[3回] 7月5日・12日・19日
 14:00~16:00
 講師: 川崎和美(ガラス造形作家)

夏休み造形講座

- 親子講座「いろんな楽器にさわってみよう!」
 日時: 7月29日(水) 10:00~12:00
 講師: 渡辺 亮(パーカッションニスト)
- 不思議な音の世界
 日時: 7月29日(水) 14:00~16:00
 講師: 渡辺 亮(パーカッションニスト)

●フレームアート

日時: 8月3日(月)
 10:00~12:00

●発泡スチロールアート

日時:[2回] 8月10日(月祝)・11日(火)
 10:00~12:00

●子どものアトリエでかくれんぼ

日時:[2回] 8月24日(月)・25日(火)
 10:00~12:00
 講師: 宮元三恵(アーティスト)

わくわく1日造形講座

- 親子講座「ぐちゃぐちゃお絵かき」
 日時: 4月19日(日)
 14:00~16:00

●親子講座「こねこね粘土」

日時: 4月26日(日)
 14:00~16:00

長期日曜造形講座

- 油絵クラブ
 日時:[6回] 5月10日・17日・24日
 6月7日・14日・21日 14:00~16:00
 講師: 石井 健(造形講師)



ビニールテープであそぼう



ちいさな油絵A・Bコース



日本画クラブ



さとुरいさんの作品を体験しよう!



私立幼稚園連合会研修(オンライン)



オンラインプログラム「たのしい!のタネまき」

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

*市民のアトリエ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 参照(p.37)

専門館連携

*外部と連携した事業 専門館連携 参照(p.48)

人材育成事業

保育士・教師を対象とした研修等

受入件数:3件

参加人数:198人

受入団体:神奈川県私立幼稚園連合会
(9,10,11月/オンライン)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

●教師のためのワークショップ

夏期講座7月25日(土)・26日(日)

春期講座(日程調整中のみ中止)

●保育士・教師を対象とした研修等

神奈川県教育委員会(5月)

横浜市小学校図画工作研修第71回夏季実技研修会(7月)

オンラインプログラム

横浜みなとみらいホール連携「オルガン・1ドルプラスatHome」関連

「動物のお面」の作り方

*動画の一部として作り方を紹介

日程:6月24日(水)公開

担当:山崎 優,大岩久美

横浜みなとみらいホール連携「オルガン・1ドルプラスatHome」関連

「お花」の作り方

*動画の一部として作り方を紹介

日程:8月15日(土)公開

担当:山崎 優,大岩久美

「たのしい!のタネまき」 4プログラム

日程:10月5日(月)・6日(火)公開

担当:櫻庭瑠実,佐藤琢巳,大岩久美

太田雅子,森 未祈

トライアローグ展関連

「じっくりみる この一点」 4プログラム

日程:1月29日(金)公開

担当:櫻庭瑠実,太田雅子,佐藤琢巳,森 未祈

市民のアトリエ

ワークショップ等

◎アートとふれあう

版画基礎コース

日時:(各土曜)各10:10~12:40
Cコース [6回]9月5日-10月10日
Dコース [6回]10月17日-11月21日
Eコース [4回]11月28日-12月19日
Fコース [6回]1月9日-2月13日
インストラクター:
岩淵華林(シルクスクリーン)
山崎 慧(リトグラフ)
赤本啓護(銅版画)

担当:櫻庭瑠実

参加費:C・D・F=各16,000円
E=10,000円

参加人数:C11人,D11人,E9人,F10人

小さなブロンズ作品づくり

日時:各14:00~16:30
Dコース (各土曜)[4回]9月12日-10月3日
Eコース (各火曜)[4回]10月6日-10月27日
Fコース (各日曜)[2回]11月8日・22日
Gコース (各月曜)[2回]12月7日・21日
Hコース (各日曜)[2回]1月10日・24日
講師:小林且典(彫刻家),木下貴博
参加費:D・E=各9,000円
F・G・H各=4,500円
参加人数:D8人,E8人,F8人,G8人,H8人

はがし刷りからの展開

日時:(各日曜)[3回]9月20日(日)-10月4日
各14:00~16:00(最終日は16:30まで)
講師:阿部大介(美術家)
担当:櫻庭瑠実,佐藤琢巳
参加費:10,000円
参加人数:12人

居間の思い出~日用品の思い出を摺りとって 版画作品を作ろう~

日時:(各日曜)[2回]11月22日・29日
各14:00~16:30
講師:岩田駿一(版画家)
担当:佐藤琢巳,櫻庭瑠実
参加費:7,500円
参加人数:10人

空想建築一手のひらサイズのテラコッタ

日時:[3回]12月19日(土)・20日(日)
1月9日(土)各14:00~16:00
講師:山口茉莉(版画家/美術家)
担当:木下貴博,佐藤琢巳
参加費:10,000円
参加人数:12人

◎展覧会関連プログラム

「澄川喜一展」関連企画

抽象彫刻の魅力「澄川喜一の世界」
日時:2月23日(日祝)14:00~16:00
講師:澄川喜一(本展作家)
担当:木下貴博,柏木智雄
会場:市民のアトリエ,企画展展示室
参加費:2,500円
参加人数:20人

「ヨコハマトリエンナーレ2020」関連企画

●参加型アクション《彗星たち》

日時:(各日曜)7月19日・26日,8月9日・23日,
9月6日・20日,10月11日
各13:30~15:00
(ワークショップ,ディスカッション)
各10:30~11:10,16:30~17:10
(清掃アクション)
*10月11日のみ15:30~18:15
(カンパセーション)
講師:岩井 優(参加作家)
担当:森 未祈,木下貴博,佐藤琢巳
櫻庭瑠実
会場:館内各所(清掃アクション)
オンライン(ワークショップ)
参加人数:19人,15人,26人,16人,28人,19人,
10人 *ワークショップのみ

●オンライン・トーク

「飯川雄大の思考をつかまえる」

日時:8月30日(日)
講師:飯川雄大(参加作家)
聞き手:木村絵理子
担当:木下貴博,森 未祈,佐藤琢巳
参加人数:36人

「柵瀬茉莉子展」関連企画

おうちワークショップ「木の葉を縫う、持ち歩く」

ワークショップキットを発送して各自制作。作家と参加者をつなぐオンライン発表会を開催。
日時:12月13日(日)14:00~15:30
講師:柵瀬茉莉子(出品作家)
担当:森 未祈,佐藤琢巳
参加費:1,000円
参加人数:20人 *発表会参加は6人

「トライアログ展」関連企画

「《王様の美術館》からつむぐ物語」

ルネ・マグリット《王様の美術館》から創作した物語を募集。入選した3作品について森山未来による朗読とパフォーマンスの映像をトライアログ展会場とウェブサイトで公開。
募集作品:日本語,400字程度,ひとり作品
募集期間:11月14日(土)-12月16日(水)
入選作品公開:1月22日(金)



版画基礎コース



はがし刷りからの展開



居間の思い出



澄川喜一の世界



参加型アクション《彗星たち》



木の葉を縫う、持ち歩く



《王様の美術館》からつむぐ物語



ライブラリー・トーク「図書館で出会う写真」



教育プラットフォーム 菅田中学校



教育プラットフォーム 本郷中学校



オンラインプログラム「アートで自然と遊ぼう」



オンラインプログラム「どんな技法？」

朗読出演：森山未來(俳優・ダンサー)
担当：森 未祈, 太田雅子, 櫻庭瑠実, 佐藤琢巳
応募総数：1,002点
入選作品：3点
佳作：10点

◎ライブラリー・トーク

「図書館で出会う写真」

日時：2月21日(日) 15:00～17:00
講師：畠山直哉(写真家)
聞き手：松永真太郎
担当：櫻庭瑠実, 森 未祈, 佐藤琢巳, 関 淳一
長谷川菜穂, 大西絢子, 宮谷友美
会場：オンライン
参加人数：50人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

版画基礎コース

日時：(各土曜) 各10:10～12:40
Aコース [6回] 5月9日-6月13日
Bコース [6回] 6月20日-7月25日

小さなブロンズ作品づくり

日時：各14:00～16:30
Aコース (各日曜) [4回] 5月10日-31日
Bコース (各火曜) [4回]
6月16日・30日, 7月7日・21日
Cコース (各火曜)
7月28日, 8月4日・18日・25日

ルネサンス絵画技法ーテンペラ画

～名画の模写から学ぶ～
日時：(各火曜) [9回] 5月19日-7月14日
各13:00～16:00
講師：塩谷 亮(画家)

空想建築一手のひらサイズのテラコッタ

日時：[3回] 7月11日(土)・12日(日),
8月2日(日) 各14:00～16:00
講師：山口茉莉(版画家／美術家)

1日体験「フォトグラム」

日時：7月19日(日) 10:30～16:00

令和2年度 横浜みどりアップ・ワークショップ

Beaten Bark ユーカリの木を中心に

講師：田中 彰(版画家／美術家)

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

横浜市立菅田中学校
日時：9月8日(火)
講師：花崎 攝(シアター・プラクティショナー/
野口体操講師)
担当：関 淳一, 北川裕介
参加人数：10人

横浜市立永田台小学校
日時：(各水曜) 10月28日, 11月4日・18日
講師：三ツ山一志(造形教育家)
担当：山崎 優, 太田雅子
参加人数：27人, 27人, 27人

横浜市立神奈川中学校
日時：11月16日(月)
講師：花崎 攝(シアター・プラクティショナー/
野口体操講師)
担当：関 淳一, 北川裕介
参加人数：12人

横浜市立本郷中学校
日時：(各火曜) 1月19日・26日, 2月2日
講師：岩井 優(アーティスト)
担当：森 未祈, 木下貴博
参加人数：124人, 128人, 128人

オンラインプログラム

令和2年度 横浜みどりアップ・ワークショップ関連

「アートで自然と遊ぼう」

日程：11月3日(火祝) 公開
出演：田中 彰(版画家／美術家)
担当：木下貴博, 佐藤琢巳

トライアログ展開連

「どんな技法？」 3プログラム

日程：12月11日(金) 公開
担当：櫻庭瑠実, 佐藤琢巳, 太田雅子, 森 未祈

トライアログ展開連

「《王様の美術館》からつむぐ物語」

日程：1月22日(金) 公開
4プログラム

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当: 木下貴博, 森 未祈
会場: 市民のアトリエ立体室

木の作品

日時:[8回] 各13:30~16:00
Cコース (各水曜) 9月2日-10月21日
Dコース (各水曜) 11月4日-12月23日
Eコース (各金曜) 12月4日-1月29日
(1月1日は休み)
参加費: 各12,000円
参加人数: C10人, D10人, E10人

テラコッタ

日時:(各月曜) 各13:30~16:00
Cコース [5回] 9月7日・14日・28日,
10月5日・26日
Dコース [4回] 11月2日・9日・16日,
12月14日
Eコース [4回] 1月11日・18日・25日,
2月15日
参加費: C=7,500円, D・E=各6,000円
参加人数: C10人, D10人, E10人

◎オープンスタジオ平面室

担当: 佐藤琢巳, 森 未祈
会場: 市民のアトリエ平面室

人体クロッキー

日時: 各13:30~16:00
Dコース(着衣) (各水曜) [7回]
9月2日-10月14日
Eコース(着衣) (各火曜) [7回]
9月8日-10月20日
Fコース(着衣) (各火曜) [5回]
11月10日-12月8日
Gコース(着衣) (各金曜) [5回]
11月20日-12月18日
Hコース(着衣) (各火曜) [4回]
1月12日-2月2日
Iコース(着衣) (各月曜) [4回]
1月25日-2月15日
参加費: D・E=各9,800円, F・G=各7,000円,
H・I=各5,600円
参加人数: D12人, E12人, F12人, G12人,
H12人, I12人

人体を描く

日時: 各13:30~16:00
Aコース(着衣) (各土曜) [2回]
9月5日・12日
Bコース(着衣) (各金曜) [4回]
9月18日・25日, 10月9日・16日
Cコース(着衣) (各土曜) [4回]
10月10日-31日

Dコース(着衣) (各月曜) [2回]
12月14日・21日
Eコース(着衣) (各土曜) [2回]
1月30日, 2月6日
参加費: B・C=各6,000円,
A・D・E=各3,000円
参加人数: A12人, B12人, C12人, D13人,
E12人

◎オープンスタジオ版画室

担当: 櫻庭瑠実, 佐藤琢巳
会場: 市民のアトリエ版画室
日時:
第2期 (各水・土曜) 9月2日-10月31日
(各火曜) 9月1日・15日, 10月6日・20日
(火・水) 13:00~16:30
(土) 14:00~16:30
第3期 (各水・土曜) 11月4日-12月19日
(各火曜) 11月10日・24日, 12月8日
(火・水) 13:00~16:30
(土) 14:00~16:30
第4期 (各水・土曜) 1月6日-2月13日
(各火曜) 1月12日・26日, 2月9日
(火・水) 13:00~16:30
(土) 14:00~16:30
インストラクター:
岩淵華林(シルクスクリーン)
山崎 慧(リトグラフ)
赤本啓護(銅版画)
参加費: 第2~4期
(火・水) 1,800円, (土) 1,600円
参加人数: 第2期260人, 第3期212人
第4期170人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

オープンスタジオ立体室

●木の作品

日時:[8回] 各13:30~16:00
Aコース (各水曜) 4月15日・22日, 5月13日・
20日・27日, 6月3日・10日・17日
Bコース (各月曜) 6月22日・29日, 7月6日・
20日・27日, 8月3日・17日・24日

●テラコッタ

日時: 各13:30~16:00
Aコース (各火曜) [6回] 4月21日・28日,
5月12日・19日・26日, 6月23日
Bコース (各土曜) [6回] 6月27日, 7月4日・
18日, 8月1日・8日・29日

オープンスタジオ平面室

●人体クロッキー

日時: 各13:30~16:00
Aコース(ヌード) (各水曜) [6回]
5月13日-6月17日
Bコース(着衣) (各土曜) [6回]
5月23日-6月27日
Cコース(ヌード) (各水曜) [6回]
7月1日-8月5日

オープンスタジオ版画室

第1期 (各水・土曜) 5月9日-7月29日
(各火曜) 5月19日, 6月2日・16日,
7月7日・21日
(水) 10:10~16:30
(火・土) 14:00~16:30

募集リーフレット

横浜美術館 市民のアトリエプログラム『ワークショップガイド』の発行



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働



オープンスタジオ立体室



教育プロジェクトボランティア



教育プロジェクトボランティア



教育プロジェクトボランティア 勉強会



若者支援プログラム



野村総合研究所 ワークショップ

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広がります。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。

ボランティア

教育プロジェクトボランティア

活動期間：4月1日(水)-2月28日(日)

- *4月-10月はヨコトリガイドサポーターとして活動のため休止
- *鑑賞サポート ボランティアによるトーク 参照(p.31)

登録人数：81人

参加人数：延べ877人

主な活動内容

- | | |
|--------------|-----|
| ・研修会・勉強会 | 3回 |
| ・ヨコトリガイド研修 | 67回 |
| ・ヨコハマ・アートマップ | 4回 |
| ・丹下健三 | 4回 |
| ・描かれた物語 | 3回 |

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

●子どものアトリエ

「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：4月1日(水)-2月28日(日)

登録人数：27人

●教育プロジェクトボランティア

来館者案内活動

海外研修受入サポート

中高生プログラムサポート

若者支援プログラムサポート

特別支援学校プログラムサポート

地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

アウトリーチ事業等

若者支援プログラム

担当: 関 淳一, 端山聡子, 古藤 陽

●ヨコハマトリエンナーレ2020鑑賞会

日時: 9月15日(火) 11:00~12:20

9月23日(水), 10月6日(火)

13:30~18:00

会場: オンライン(15日)

8階スクールスペース(23日)

円形フォーラム(6日)

参加人数: 17人, 6人, 13人

●トライアログ展鑑賞会

日時: 1月26日(火), 2月16日(火)

13:30~15:30, 13:30~16:30

会場: よこはま南部ユースプラザ(1月)

ユースサポート・ユースワークふじさわ

(1月)

8階スクールスペース(2月)

参加人数: 6人, 5人, 11人

横浜国立大学連携

横浜国立大学教育学部美術教育講座

「高齢者ワークショップ5年間の取り組みについて」

日時: 11月19日(木) 10:30~12:00

講師: 木下貴博

会場: 横浜国立大学教育学部美術棟

(オンライン授業)

参加人数: 8人

横浜美術館法人向け芸術支援プログラム

Heart to Art参加企業特典

株式会社野村総合研究所

テッサン・ワークショップ

日時: 11月20日(金), 12月11日(金)

14:00~16:30

担当: 柳川文秀, 櫻庭瑠実, 襟川文恵

会場: 野村ビル

参加人数: 6人, 6人

横浜信用金庫

子ども向け創造体験キット提供

提供日: 9月29日(火)

数量: 120セット

配布先: 市内幼児教育施設等

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

●アウトリーチ

・日時: 7月21日(火)

会場: 横浜医療福祉センター港南

・日時: 10月

会場: 神奈川県立こども医療センター

・日時: 10月

会場: 横浜市立大学付属病院小児科病棟

●横浜国立大学連携

老人ホーム訪問ワークショップ

日時: 12月

会場: 戸部ハマノ愛生園

環境啓発事業

令和2年度 横浜みどりアップ・ワークショップ

*市民のアトリエ ワークショップ等 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業 参照(p.37)

人材育成等

◎インターンシップ

子どものアトリエ

●インターン

活動期間: 4月1日(水)-2月28日(日)

登録人数: 7人

参加人数: 延べ71人

◎子どものアトリエ

教師のためのワークショップ

*子どものアトリエ 人材育成事業 参照(p.35)

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(令和3年3月現在12,942件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ビデオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集件数 ()内が2年度収集点数

	油彩画								合計
	日本画	(日本洋画・西洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真・映像	作品外資料*	
購入	164 (0)	199 (0)	1,614 (0)	63 (0)	47 (0)	82 (0)	3,206 (0)	0 (0)	5,375 (0)
寄贈	751 (0)	322 (3)	1,925 (25)	1,738 (4)	65 (1)	101 (0)	1,084 (1)	1,581 (140)	7,567 (174)
合計	915 (0)	521 (3)	3,539 (25)	1,801 (4)	112 (1)	183 (0)	4,290 (1)	1,581 (140)	12,942 (174)

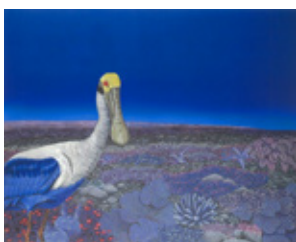
*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係がたどれる資料や、作品の制作に使用した道具のよう、制作の背景を明らかにする資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」に該当します。)

*上記点数に寄託作品は含まれません。

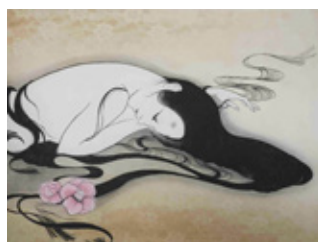
令和2年度の主な収集作品

作家	作品名
江見絹子	パンテオンとソルボンヌ
北 久美子	日本鳥類絵図…P
小林ドンゲ	散る花
遠藤典太	鷺山の一角
澄川喜一	そりのあるかたち
百瀬 文	聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと
山岸主計	ポール・ジャクレーの版画作品の墨摺・試摺(9点)
—	長谷川潔自筆書簡ほか 魚津章夫旧蔵 長谷川潔関連資料(21点)
—	初代宮川香山自筆書簡ほか 初代井高歸山旧蔵資料(103点)

*令和2度の全収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(令和4年3月発行予定)を参照



北 久美子《日本鳥類絵図…P》
1974年/油彩、カンヴァス
北ひろみ氏寄贈



小林ドンゲ《散る花》
1985年/エンブレイヴィング、エッチング、
アクアチント、ソフトグラウンド・エッチング、
ドライポイント(2版)
小林富美江氏寄贈



百瀬 文《聞こえない木下さんに聞きたいいくつかのこと》
2013年/シングルチャンネル・ビデオ(サウンド)、
25分30秒
百瀬文氏寄贈

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
日本画	片岡球子	《少女図(仮題)》	2018-JP-005	クリーニング、剥落止め、補彩、裏打ち、屏風装の解体修理
	上村松園	《楚蓮香之図》	2000-JP-003	画面のシミ除去、掛軸装の解体修理、裏打ち紙の交換
	牛田雞村	《題名不詳》	2017-JP-007	画面のシミ除去
日本洋画	遠藤典太	《本牧風景》	88-OJ-011	額装
	小川原脩	《双児対話》	88-OJ-018	額とカンヴァスの固定方法改修
西洋画	ジャスティン・ラダー	《文化 1984》	89-OF-001	トランジスタラジオの再固定・剥落部分の充填整形と補彩、ペニアパネル下部の破損箇所の充填整形と補彩
版画	織田観潮	《東海道藤沢町惨状》 『大正震災木版画集』より	90-PRJ-003-22	マット装
水彩・素描	斎藤豊作	《鳥》	2004-DRJ-004	マット装
		《鴨(6種)》	2004-DRJ-005	マット装
		《鯉》	2004-DRJ-006	マット装
		《雪の積もった樹》	2004-DRJ-007	マット装
		《草叢の水鳥》	2004-DRJ-008	マット装
彫刻・立体	小野友三	《park》	2018-SJ-005	ベンチの再接着
	イサム・ノグチ	《真夜中の太陽》	90-SF-005	台石欠損部分の補修・補彩
	笹井 弘	《動植物》	99-SJ-001	振動部分ばね装置の改修、一部振動台の更新と固定用棒の新制、送風ファンと一部モーターの交換による改修、電気コード交換、全体作動調整、電源制御装置(コントロールボックス)の更新、フットスイッチの追加
	新宮 晋	《風の音符》	88-SJ-006	風車部分のオーバーホール・不良部品の交換修理・再塗装
工芸	リチャード・マーキス	《トロフィー(白・黒・白)》	91-CF-003	クリーニング、取手部分の再接着
写真・映像	エリファレット・ブラウン・ジュニア	《遠藤又左衛門と従者》	84-PHF-014	ドライクリーニング、カバーガラスの交換、シーリングの交換、本体及び付属品一式の保存箱作成
		安藤不二夫	《川村信雄》	88-PHJ-02A
	クリスチャン・ヤンコフスキー	《彫刻美容リンパ・マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-006	プリントのアルミ複合板マウント、額装
		《彫刻足ツボ・マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-007	プリントのアルミ複合板マウント、額装
		《彫刻忍者マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-008	プリントのアルミ複合板マウント、額装
		《彫刻禅マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-009	プリントのアルミ複合板マウント、額装
		《彫刻腎臓マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-010	プリントのアルミ複合板マウント、額装
		《彫刻ヘッド・マッサージ》 『マッサージ・マスターズ』より	2018-PHF-011	プリントのアルミ複合板マウント、額装

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数：9件(うち海外1件)

貸出総作品数：75点(うち2点は寄託作品)

貸出実績

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名・収蔵品番号
「神業ニツボン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼」 茨城県陶芸美術館 令和2年4月18日(土)-6月28日(日)	初代 宮川香山	《高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉》 (寄託作品[田邊哲人コレクション]) (2018-CJ-K-001)
岐阜県現代陶芸美術館 令和2年9月5日(土)-11月3日(火祝)		《袖下彩白盛鶏図大花瓶》 (寄託作品[田邊哲人コレクション]) (2017-CJ-K-005)
滋賀県立陶芸の森 陶芸館 令和3年3月20日(土祝)-6月6日(日)		
「生誕100年 國領経郎展 一 静寂なる砂の景一」 茅ヶ崎市美術館 令和2年7月1日(水)-8月30日(日)	國領経郎	《山手風景》(97-OJ-001)
※ 令和1年度に鳥取県立博物館、酒田市美術館で開催後、巡回		《東中野風景》(97-OJ-002)
		《布のある椅子に座る裸婦》(仮題) (99-DRJ-001)
		《背戸(柏崎)》(97-OJ-004)
		《女の肖像》(仮題) (99-DRJ-003)
		《空港への路》(84-OJ-005)
		《港の風景》のための習作 (99-DRJ-006)
		《浚渫船建造中》(84-OJ-006)
		《船二隻》(仮題) (99-DRJ-010)
		《船のある風景》(84-OJ-007)
		《外人墓地》(84-OJ-008)
		《ヨットハーバー》(85-OJ-012*)
		《砂上の風景》(84-OJ-009)
		《福良港》(「スケッチブック5」所収) (99-DRJ-011)
		《真夏の空間》(84-OJ-011)
		《砂の峡》(84-OJ-012)
		《昼の月》の習作 (99-DRJ-017)
		《砂の壁》(84-OJ-014)
		《歩む男女》(仮題) (99-DRJ-019)
		《若ものたち》(84-OJ-015)
		《轍》(84-OJ-018)
		《スコットランド、スカイ島風景》(99-DRJ-020)
		《静止の空間》(84-OJ-020)
		《静止の空間》の習作(「スケッチブック9」所収) (99-DRJ-023)
		《想》(3部作〈連〉の内) (97-OJ-006)
		《横臥する裸婦》(仮題) (99-DRJ-024)
		《横臥する着衣の女》(仮題) (99-DRJ-025)
		《裸婦座像》(仮題) (99-DRJ-026)
		《海風の風景》(92-OJ-003)
		《海風の風景》の習作 (99-DRJ-028)
		《鳥三羽、萩にて》(仮題) (「スケッチブック11」所収) (99-DRJ-031)
		《望》(3部作〈連〉の内) (97-OJ-007)
		《手・手・手》(3部作〈韻〉の内) (97-OJ-008)
		《飛行船の浮ぶ港の風景》(97-OJ-009)
		《手・手・手》の習作 (99-DRJ-035)
		《希》(3部作〈連〉の内) (97-OJ-010)
		《潮溜》(仮題) (99-DRJ-036)
		《兆》(3部作〈韻〉の内) (97-OJ-011)

貸出

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名・収蔵品番号
		《手・手・手Ⅱ》(3部作〈韻〉の内) (97-OJ-012)
		《寥寥》の習作 (99-DRJ-037)
「わが青春の上社会 - 昭和を生きた洋画家たち」	岡田謙三	《ラマ寺》(82-OJ-003)
神戸市立小磯記念美術館 令和2年10月3日(土)-12月13日(日)	加山四郎	《秋の庭》(86-OJ-005)
豊田市美術館 令和3年1月5日(火)-3月14日(日)		
ヨコハマトリエンナーレ2020「AFTERGLOW一光の破片をつかまえる」	田中敦子	《作品67E》(89-OJ-002)
横浜美術館、プロット48 令和2年7月17日(金)-10月11日(日)	ポール・ジャクレー	《貝を持つサイパンの少年(貝の組の内)》(2003-PRF-104)
※作品は横浜美術館で展示		《チャモ口の女(赤)(連作〈虹〉より)》(2003-PRF-108)
		《蘭を持つヤップの美人、西カロリン諸島》(2003-PRF-115)
		《貝を持つファララップの女(貝の組の内)》(2003-PRF-127)
		《メタラニームの驟雨、ポナベ島、東カロリン諸島》(2003-PRF-130)
		《タラン島の恋人、西カロリン諸島》(2003-PRF-132)
		《波の音、東カロリン諸島(貝の組の内)》(2003-PRF-138)
		《めざめ、サイパン島》(2003-PRF-141)
		《あめあがり、ヤップ島》(2003-PRF-147)
		《失恋、東カロリン諸島》(2003-PRF-168)
		《バナナの木の下の、ヤップ島トミル》(2003-PRF-187)
		《トコベイ島の彫刻師、バラオ諸島》(2003-PRF-228)
		《オウム貝、ヤップ島》(2003-PRF-245)
	石内 都	《絶唱、横須賀ストーリー #66(稲岡町)》(2001-PHJ-043)
		《絶唱、横須賀ストーリー #71(本町)》(2001-PHJ-045)
		《絶唱、横須賀ストーリー #87(長井町)》(2001-PHJ-051)
	ヴァイルヘルム・フォン・グレーテン	《カインータオルミナ》(2000-PHF-001)
		《フォン・グレーテンのアトリエの入口で、タオルミナ》(2000-PHF-002)
		《水浴者、タオルミナ》(2000-PHF-003)
		《タオルミナ》(2000-PHF-005)
		《タオルミナ》(2000-PHF-006)
「『写真の都』物語一名古屋写真運動史:1911-1972」	高田皆義	《ヌード》(86-PHJ-10F)
名古屋市美術館 令和3年2月6日(土)-3月28日(日)		《ヌード》(86-PHJ-10G)
		《ヌード》(86-PHJ-10H)
		《ヌード》(86-PHJ-10J)
「さまよえる絵筆—東京・京都 戦時下の前衛画家たち」	小川原 脩	《双生児対話》(88-OJ-018)
板橋区立美術館 令和3年3月27日(土)-5月23日(日)		
※板橋会場のみ貸出		
「烏合会結成120周年記念 明治の浮世絵系画家誕生」(仮題)	齋藤英朋	《鍵権三重帷子》(2000-JP-007)
鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和3年4月15日(木)-5月19日(水)		
(予定)		
※大規模改修に伴う早期貸出		
「イサム・ノグチ 発見の道」	イサム・ノグチ	《チャイニーズ・スリーヴ》(88-SF-004)
東京都美術館 令和3年4月24日(土)-8月 29日(日) (予定)		《下方へ引く力》(90-SF-004)
※大規模改修に伴う早期貸出		

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品・資料名・収藏品番号
「Yoshitomo Nara」 ロサンゼルス・カウンティ美術館 令和3年4月1日(木) - 7月5日(月) (予定)	奈良美智	《春少女》(2013-OJ-002)
※ 新型コロナウイルス感染症対策による休館のため会期が変更		

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのためのお取り組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのためにウェブサイトを中心に印刷物やメールニュース、ソーシャルメディアなど、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

新聞	美術雑誌・一般雑誌・FP	ウェブ	TV・ラジオ	その他	海外	合計
514	413	4,428	459	80	263	6,157

展覧会広報

◎澄川喜一展

報道内覧会

日時：2月14日(金) 11:00～13:00

会場：展示室

参加人数：88人

新型コロナウイルス感染症対策について

ラクス・メディア・コレクティブからのビデオメッセージ

視聴者数：124人

一般内覧会

日時：7月16日(木) 10:00～18:00

会場：横浜美術館, プロット48,

日本郵船歴史博物館(展示協力)

参加人数：424人

*参加人数は横浜美術館のみ計上

報道関係者向けギャラリートツアー

日時：2月14日(金) 11:30～12:00

案内：澄川喜一(本展作家), 柏木智雄

会場：企画展展示室

参加人数：60人

第3回記者会見

日時：7月16日(木) 14:30～15:30

会場：横浜ランドマークホール

横浜美術館レクチャーホール(サテライト会場)

登壇者：林 文子(横浜市長)

近藤誠一(組織委員会委員長)

逢坂恵理子, 蔵屋美香(組織委員会副委員長)

ラクス・メディア・コレクティブ(AD)

木村絵理子(本展企画統括)

日本在住の参加アーティスト(11人)

青野文昭, 新井 卓, 飯川雄大

飯山由貴, 岩井 優, エレナ・ノックス

さとうりさ, 新宅加奈子, 竹村 京

田村友一郎, デニス・タン

内容：開幕におけるメッセージと展覧会紹介
ラクス・メディア・コレクティブのオンライン中継によるメッセージとフォトセッション

参加人数：88人(うちサテライト会場17人)

AD オンラインプレス懇親会

日時：7月17日(金) 14:00～15:30

内容：オンライン中継でADのラクスとプレスをつなぎ、美術専門記者とADのラクスが直接話ができる機会を提供。

参加人数：12名

開会式・内覧会

日時：2月14日(金) 15:00～18:00

会場：グランドギャラリー・展示室

参加人数：416人(プレス88人含)

◎トライアログ展

報道内覧会

日時：11月13日(金) 10:00～13:00

会場：展示室

参加人数：121人

◎ヨコハマトリエンナーレ2020

記者会見

第1回記者会見(「エピソード00」)

日時：2019年11月29日(金) 14:00～18:00

*鑑賞サポート 企画展 ヨコハマトリエンナーレ2020 参照(p.28)

第2回記者会見(オンライン配信)

日時：6月22日(月) 14:00～15:00

会場：横浜美術館内Café小倉山よりオンライン中継

登壇者：逢坂恵理子, 蔵屋美香(組織委員会副委員長)

ラクス・メディア・コレクティブ(AD)

*ビデオメッセージ

松元公良(開催本部長)

帆足亜紀(司会)

内容：ヨコハマトリエンナーレ2020 展覧会概要参加アーティストを発表

記者内覧会

日時：7月16日(木)

午前の部 11:30～14:00

午後の部 16:00～18:00

会場：横浜美術館, プロット48,

日本郵船歴史博物館(展示協力)

参加人数：午前の部157人, 午後の部72人

報道関係者向けギャラリートツアー

日時：11月13日(金) 11:00～11:30

案内：蔵屋美香, 松永真太郎

会場：企画展展示室

参加人数：70人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

トライアログ展

開会式・内覧会

日時：11月13日(金)



澄川喜一展 報道関係者向けギャラリーツアー



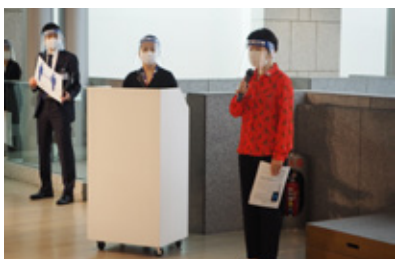
澄川喜一展 開会式・内覧会



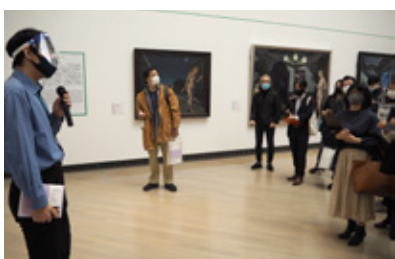
ヨコハマトリエンナーレ2020 記者会見 撮影：加藤 甫



ヨコハマトリエンナーレ2020 一般内覧会



トライアローグ展 報道内覧会



トライアローグ展 報道関係者向けギャラリーツアー

全館広報

ウェブサイト

アクセス数：4,791,824pv
(令和3年3月31日現在)

Twitter

フォロワー数：147,222
(令和3年3月31日現在)

メールニュース

登録者数：9,344人
(令和3年3月31日現在)
発行数：定期便23回，臨時便6回

◎ウェブを活用した全館広報

- 4月 館長就任動画配信
- 6月 「オンラインで楽しむ横浜美術館」ページリニューアル
- 10月 教育普及「オンラインで楽しむ！エデュケーション・チャンネル」公開
- 3月 休館に向けた横浜美術館サイトリニューアル
休館挨拶動画配信

◎首都圏に焦点をあてた広報展開

澄川喜一展

- ・板橋区立美術館(「深井隆一物語の庭」)との相互割引
- ・横浜高島屋(1階フロア)での展覧会紹介パネル設置(横浜)

トライアローグ展

- ・東京国立近代美術館(「眠り展」)との相互割引

◎海外メディアへの広報

- 企画展，コレクション展，NAP，全展で日英での展覧会プレスリリース作成
- 海外メディアへの展覧会プレスリリース配信
- 海外VIPへの展覧会招待状送付

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率 = 回収数 ÷ 総入場者数

	澄川喜一展	トライアローグ展
総数	40通(*回収率1.4%)	132通(*回収率0.3%)
来館回数		
11回以上	38%	38%
6~10回	10%	17%
2~5回	32%	28%
今回が初めて	20%	13%
不明	0%	4%
居住地		
市内	40%	50%
市外	58%	36%
不明	2%	14%
性別		
女性	48%	64%
男性	50%	25%
不明	2%	11%
年齢		
19歳以下	13%	5%
20代	15%	8%
30代	5%	10%
40代	15%	12%
50代	25%	26%
60代以上	22%	29%
年齢不明	5%	10%

展覧会報告会 澄川喜一展：6月30日(火)、トライアローグ展：3月15日(月)

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。データ作成による書面での報告

外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎横浜市が推進するイベント等との連携

ライトアップ

●医療従事者へエールを送るブルーライトアップ

日時：4月24日(金)～5月31日(日)
*毎週木曜日を除く 夕方～21:00

●ヨコハマミライト2020

～みらいを照らす光のまち～

日時：11月12日(木)～2月14日(日)
16:00～23:00

*さくら通りは22:00まで

*12月5日(土)・12日(土)は24:00まで延長

*12月28日(月)～2月14日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により20:00まで

会場：みなとみらい21エリア

横浜駅東口～さくら通り(はまみらいウオーク、みなとみらい歩道橋、53街区、グランモール公園)、帆船日本丸

主催：ヨコハマミライト実行委員会事務局

●ヨルノヨ

日時：11月20日(金)～12月26日(土)
18:00～21:05

会場：新港中央広場と周辺エリア

主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

PHOTO YOKOHAMA 2021

日時：1月～3月
会場：市内各所
主催：フォトヨコハマ実行委員会

クラシック・ヨコハマ

コンサート in 横浜美術館

日時：1月23日(土) 14:00～14:40
出演：堀江恵太(ヴァイオリン)
若杉知怜(ヴァイオリン)
山本 周(ヴィオラ)
柴田花音(チェロ)

会場：レクチャーホール

主催：クラシック・ヨコハマ推進委員会、横浜市
参加人数：86人

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

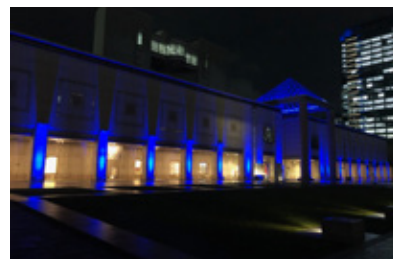
ライトアップ

東京2020大会半年前記念ライトアップ

日時：1月23日(土)、2月24日(水)



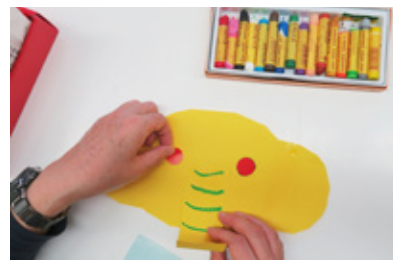
館長就任動画



ブルーライトアップ



クラシック・ヨコハマ



専門館連携オルガン1ドルプラスatHome「お面の作り方」



専門館連携オルガン1ドルプラスatHome「作品紹介」



野村総合研究所 トライアロログ展覧賞サポートアプリ

外部との連携

株式会社野村総合研究所

「トライアログ展」鑑賞サポートアプリ開発

* 鑑賞サポート 企画展 トライアログ展 参照 (p.30)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業

横浜シティガイド協会

2020春の特別企画(シティガイドと歩く)

澄川喜一展連携ガイドツアー

* 鑑賞サポート 企画展 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業 参照 (p.30)

特別鑑賞会

東急ロイヤルクラブ会員向け特別鑑賞会

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
中止

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

参加企業: 3社

NTTテクノクロス株式会社/株式会社野村総合研究所/横浜信用金庫

参加企業との取り組み

アウトリーチ

* 地域社会や市民生活に貢献する事業 アウトリーチ事業等 参照 (p.40)

鑑賞サポート

株式会社野村総合研究所

展覧会鑑賞ダイアログ

* 鑑賞サポート 企画展 トライアログ展 参照 (p.30)

来館者へのおもてなし

ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして、引き続き企画展観覧料の障がい者割引を実施しました。また、展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催しました。エントランスホールであるグランドギャラリーにおいて、季節感のある空間演出を行っています。

団体向け鑑賞前レクチャー

日時：澄川喜一展・コレクション展会期中
全2団体
会場：展示室
参加人数：延べ61人

夜間開館

ヨコハマトリエンナーレ2020
10月2日(金)・3日(土)・8日(木)・9日(金)・
10日(土) 18:00～21:00
10月11日(日) 18:00～20:00
参加人数：1,063人

パンフレット等整備

ライトアップ

常設：日没～21時まで点灯(休館日は除く)
*2月5日(金)～2月28日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大による当局方針に基づき停止
特設：横浜市との連携により、常設から切替えて点灯(休館日は除く)
*外部と連携した事業 都市戦略との連携 参照(p.48)

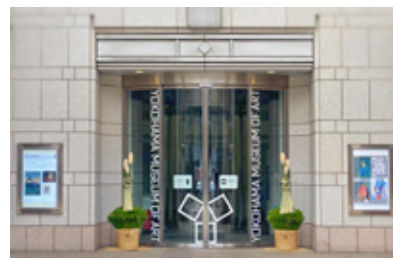
グランドギャラリーの演出

門松装飾
12月26日(土)～1月7日(木)

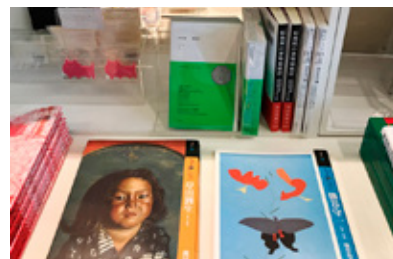
新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった事業 近隣アートプログラム

●MARK ISみなとみらい店長会

日時：(各火曜) [11回] 4月14日, 5月12日,
6月9日, 7月14日, 8月11日, 9月8日,
10月13日, 11月10日, 12月8日, 1月12日,
2月9日



門松



蔵屋美香館長特設コーナー



ヨコハマトリエンナーレ2020公式グッズ



オリジナルグッズ 横浜ビール



そりとむくりのきな粉ラテ



トライアローグオープンサンド

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館のコレクションをデザインしたオリジナルグッズや企画展関連グッズをはじめ、過去の展覧会図録や、美術に親しむための書籍類、ポストカードやステーションナリーなどの身近な商品から、お子様向けの絵本など、約1,000種の商品を取り揃えています。

営業時間：11:00～18:00

*4月1日(水)～7月16日(木)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業

*10月2日(金)・3日(土)・8日(木)・9日(金)・10日(土)は21:00まで営業

*10月11日(日)は20:00まで営業

特設コーナー

企画展ごとの特設コーナーを設置。9月より蔵屋美香館長の著書を扱った特設コーナーを設置。

オリジナルグッズ

7月にヨコハマトリエンナーレ2020公式グッズ3アイテム(7種)を製作販売。

12月に株式会社横浜ビールと協働し横浜美術館オリジナルラベルのビール(3種)を製作販売。

横浜美術館開館30周年記念2020年横浜美術館コレクションカレンダーが以下を受賞。

「DNA Paris 2020」Winner

「Creative Communication Award(C2A 2020)」Honorable Mention

「German Design Award 2021/ドイツデザイン賞2021」Special Mention

「Creativity International 50th Design & Advertising Awards」Silver Winner

「15th International Design Awards (IDA DESIGN AWARDS)」Gold Prize

オンラインショップ

300点以上の商品を掲載。企画展ごとの特設カテゴリーを開設。

◎Café小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。

営業時間：10:45～18:00 ラストオーダーは閉店の30分前

*4月1日(水)～7月16日(木)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業

*10月2日(金)・3日(土)・8日(木)・9日(金)・10日(土)は21:00まで営業

*10月11日(日)は20:00まで営業

カフェ

コレクションを利用したオリジナルメニューと企画展ごとのメニューを提供。

展覧会限定メニュー

●澄川喜一展

そりとむくりのきな粉ラテ

●ヨコハマトリエンナーレ2020

光のレモンソーダフロート

パンナコッタのレモンパフェ

●トライアローグ展

トライアローグオープンサンド

クラムチャウダー付き

マグリットのヘーゼルナッツラテ

●コレクション展

ほうじ茶ラテ

国際的な交流・発信

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年2月以降、海外からの招聘・来館、海外への出張は無し

木村絵理子

国際オンライン・シンポジウム“2020 Asia Art Space Network Forum”パネリスト, Taiwan Contemporary Culture Lab (C-Lab)
10月23日(金)

帆足亜紀

IBA(国際ビエンナーレ協会) オンライン総会出席
12月3日(木)・4日(金)

ヨコハマトリエンナーレ2020の取組み

展示制作

ヨコハマトリエンナーレ2020のための調査、展覧会準備及び作品設営については、アーティストック・ディレクターのラクス・メディア・コレクティブや出品作家(海外在住の約50名)、関係者と、オンラインでの打合せ、情報交換により業務を行った。

海外への情報発信

e-fluxの情報配信
7月21日(火), 10月10日(土)

Universes in Universeの情報配信
フォトツアー、アーティストック・ディレクターへのインタビュー掲載

受賞

Best of Public Art 2020

主催: Artsy

選出作品: イヴァナ・フランケ《予期せぬ共鳴》
ファーミング・アーキテクツ《空間の連立》*

さとうりさ《双つの樹(黄、青、橙)》*

*プロット48会場展示

資料

入館者数・収支

◎入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成12年度	1,082,553人	平成23年度	459,716人
平成2年度	990,818人	平成13年度	862,895人	平成24年度	662,159人
平成3年度	555,276人	平成14年度	372,395人	平成25年度	1,058,689人
平成4年度	541,465人	平成15年度	780,928人	平成26年度	529,748人
平成5年度	1,327,380人	平成16年度	331,873人	平成27年度	533,750人
平成6年度	528,995人	平成17年度	1,527,694人	平成28年度	584,725人
平成7年度	989,037人	平成18年度	341,657人	平成29年度	451,228人
平成8年度	344,239人	平成19年度	413,410人	平成30年度	964,192人
平成9年度	942,509人	平成20年度	770,310人	令和1年度	816,828人
平成10年度	278,954人	平成21年度	540,047人	令和2年度	206,626人
平成11年度	792,905人	平成22年度	1,408,713人		(令和3年3月31日現在)

令和2年度事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	2,691	0	0	9,295	23,322	35,144	21,426	5,979	7,709	6,749	21,237	0	133,552
コレクション展	3,600	0	0	0	0	0	0	6,707	8,522	7,206	23,063	0	49,098
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	2,681	1,819	0	0	0	4,500
美術情報センター	0	0	0	336	720	715	627	622	604	461	660	0	4,745
鑑賞サポート	223	0	0	0	135	3,764	2,913	112	117	83	144	0	7,491
子どものアトリエ	0	0	0	0	125	197	241	254	70	74	80	0	1,041
市民のアトリエ	20	0	0	38	82	511	466	399	350	552	333	0	2,751
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	0	0	0	234	223	172	62	82	66	47	128	0	1,014
広報の活動、外部と連携した事業	61	0	0	0	0	0	0	11	10	86	6	0	174
その他	16	0	18	364	118	119	98	383	545	243	356	0	2,260
合計	6,611	0	18	10,267	24,725	40,622	25,833	17,230	19,812	15,501	46,007	0	206,626

◎収支

収入

指定管理料	999,780,424
利用料金収入	27,556,989
自主事業収入	76,372,772
横浜市費用負担	5,317,000
雑入	38,777,328
合計	1,147,804,513

支出

人件費	358,830,802
事務費	9,273,066
事業費	175,833,780
夜間開館事業費	357,424
移転関係費	224,000,000
管理費	208,631,448
公租公課	40,363,350
事務経費	124,026,749
合計	1,141,316,619

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

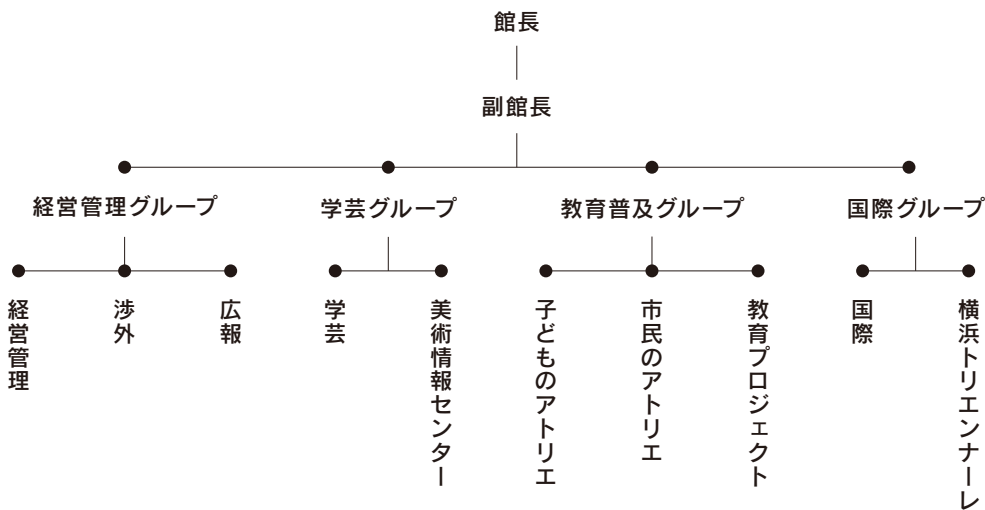
理事長	近藤誠一	元文化庁長官(代表理事)
専務理事	恵良隆二	(代表理事)
理事	松本貴行	事務局長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長(業務執行理事)
	杉浦正美	総務グループ長(業務執行理事)
	柏木智雄	横浜美術館 副館長(業務執行理事)
	西澤 洋	横浜みなとみらいホール 総支配人(業務執行理事)
	小野晋司	横浜赤レンガ倉庫1号館 館長(業務執行理事)
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	元国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団常務理事 兼 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	税理士/ペイ・タックス税理士法人 代表社員
	柴田悟一	元横浜商科大学学長/横浜市立大学 名誉教授

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

福岡 陽	フェリス女学院大学 前学長/フェリス女学院大学 名誉教授
上野 孝	横浜商工会議所 会頭/上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
柏崎 誠	横浜市信用保証協会 会長
熊谷典和	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
神部 浩	横浜市文化観光局 局長
並木裕之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長
福山浩一郎	日本放送協会横浜放送局 局長

(令和3年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長		蔵屋美香		
副館長		五十嵐誠一		
副館長・首席学芸員		柏木智雄		
経営管理グループ	経営管理	経営管理グループ長	榎崎和雄	
		チームリーダー	藤井聡子	
		チームリーダー	水谷英智	
		チームリーダー	吉川由紀子	
		担当リーダー	足立陽子	
		担当リーダー	襟川文恵	
		担当リーダー	迫田利則	
			一色あずさ	
			梅澤のど佳	
			奥津絵里	
			川邊 萌	
			小屋有紀子	
			坂口周平	
			田邊昌子	
学芸グループ	学芸	学芸グループ長・首席学芸員	沼田英子	
		チームリーダー・主任学芸員	内山淳子	
		チームリーダー・主任学芸員	中村尚明	
		チームリーダー・主任学芸員	松永真太郎	
		主任学芸員	八柳サエ	
		担当リーダー・主任学芸員	片多祐子	
		担当リーダー・主任学芸員	木村絵理子	
		担当リーダー・コーディネーター	庄司尚子	
		学芸員	大澤紗蓉子	
		学芸員	金井真悠子	
		学芸員	熊坂久美	
		学芸員	坂本恭子	
		学芸員	長谷川珠緒	
		学芸員	日比野民蓉	
		レジストラ	相原佳奈子	
			大沢知二	
		美術情報センター	司書	大西絢子
			司書	長谷川菜穂
			司書	宮谷友美
		教育普及グループ	教育普及グループ長・首席エディキーター	山崎 優
関 淳一				
子どものアトリエ	チームリーダー・主任エディキーター		柳川文秀	
	創作・造形エディキーター		大岩久美	
	創作・造形エディキーター		太田雅子	
市民のアトリエ	チームリーダー・主任エディキーター		木下貴博	
	担当リーダー・主任エディキーター		櫻庭瑠実	
	創作・造形エディキーター		佐藤琢巳	
教育プロジェクト	創作・造形エディキーター		森 未祈	
	チームリーダー・主任エディキーター／主任学芸員		端山聡子	
	鑑賞教育エディキーター・学芸員	北川裕介		
国際グループ	国際	鑑賞教育エディキーター・学芸員	古藤 陽	
		国際グループ長・学芸グループ長(兼務)	帆足亜紀	
	横浜トリエンナーレ	チームリーダー	福岡綾子	
			小山内幸恵	
		高橋伸佳		

55名(令和3年3月31日現在)

*同職名の場合は、五十音順

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認めたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

附則(平成28年2月条例第4号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・平28条例4・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ピアノ学習システムブース	1回につき	100円
名画鑑賞システムブース		100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	日曜日、土曜日及び休日
レクチャーホール	1日につき	20,000円	24,000円
		日曜日、土曜日及び休日	
附帯設備	1式、1台又は1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後6時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。
（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則（平成28年3月規則第23号）

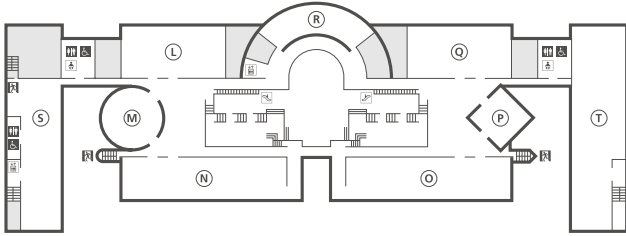
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式（第4条第1項）

（平17規則89・追加、平19規則47・一部改正）

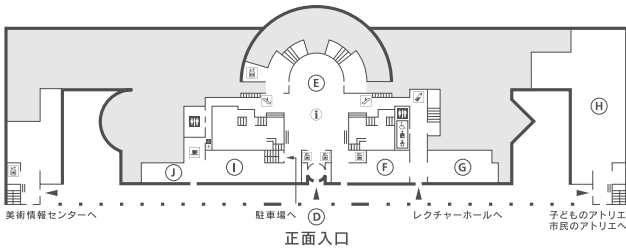
※ 様式省略

3F



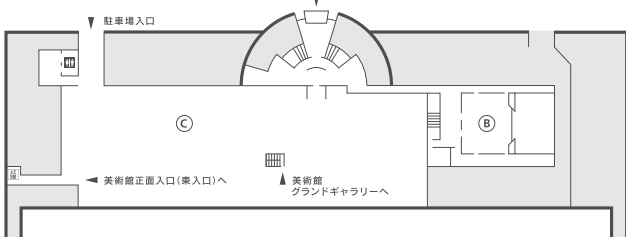
- L-R 展示室
- S 美術情報センター
- T 市民のアトリエ

2F



- D 正面入口
- E グランドギャラリー
- F アートギャラリー2
- G アートギャラリー1
- H 子どものアトリエ
- I ミュージアムショップ
- J カフェ

1F



- A 西入口
- B レクチャーホール
- C 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500(400)円
大学・高校生	300(240)円
中学生	100(80)円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

令和2年度 横浜美術館年報

令和3年6月15日発行

編集・発行：横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317

<https://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子

印刷・製本：山陽印刷株式会社

© Yokohama Museum of Art 2021



正誤表

資料 入館者数・収支ページの「◎入館者数 経年推移」にて、下記の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

(誤)			(正)	
平成30年度	964,192人	→	平成30年度	964,028人